

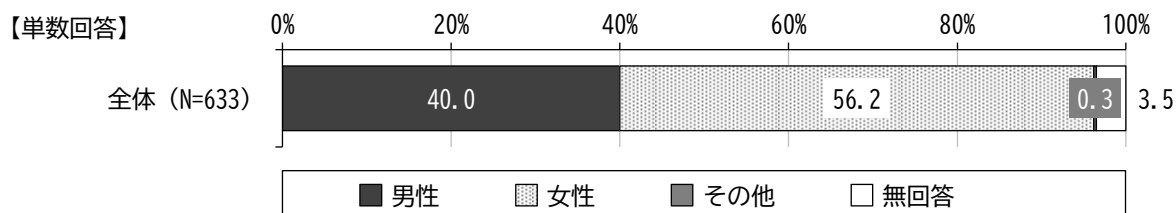
第3章 高齢者（65歳以上）調査結果

【調査名】高齢者が暮らしやすいまちづくりのための福祉に関するアンケート

1 あなた（ご本人）についておたずねします

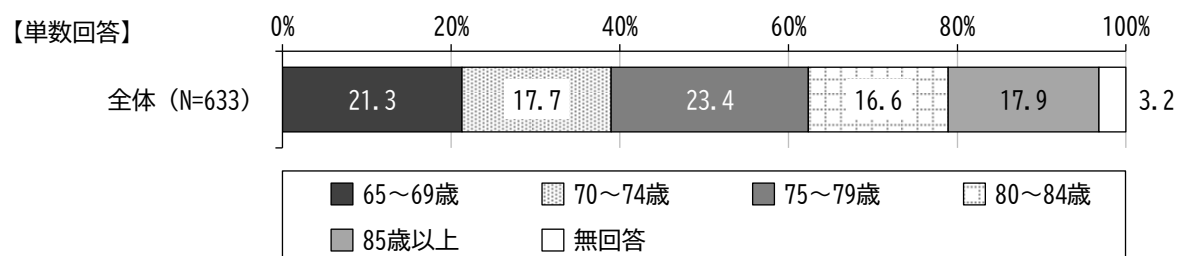
問1 性別を教えてください。（1つに○）

○ 性別は、「男性（40.0%）」、「女性（56.2%）」、「その他（0.3%）」である。



問2 年齢を教えてください。（1つに○）（令和7年10月1日現在）

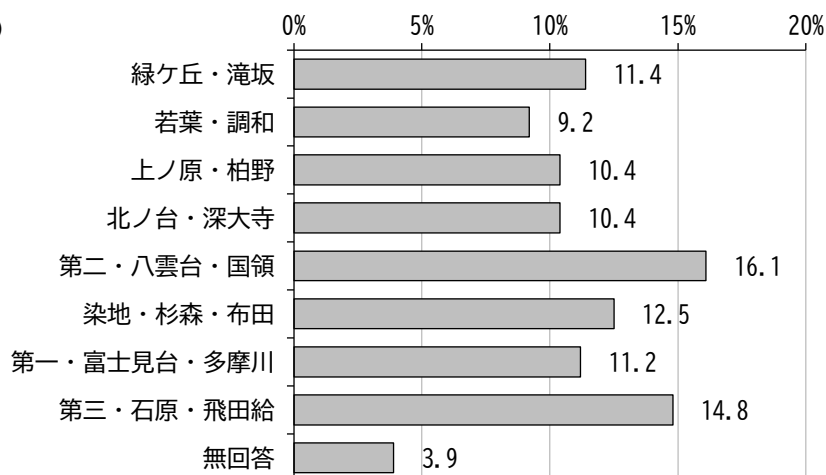
○ 年齢は、「75～79歳（23.4%）」が最も多く、「65～69歳（21.3%）」、「85歳以上（17.9%）」が続いている。



問3 お住まいの地域を教えてください。(1つに○)

- 居住地域(福祉圏域)は、「第二・八雲台・国領(16.1%)」が最も多く、「第三・石原・飛田給(14.8%)」、「染地・杉森・布田(12.5%)」が続いている。

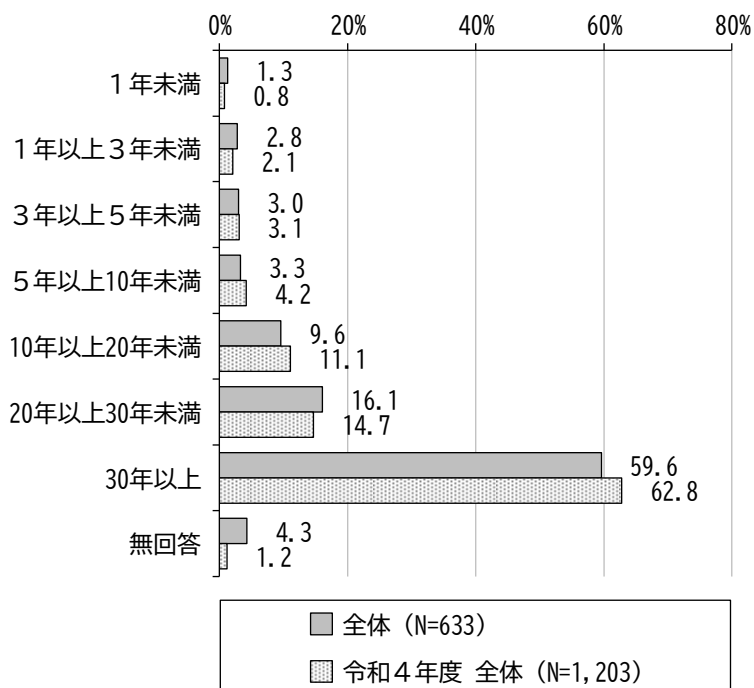
【単数回答】全体(N=633)



問4 市内での居住年数(市外への転居期間を除く通算年数)を教えてください。(1つに○)

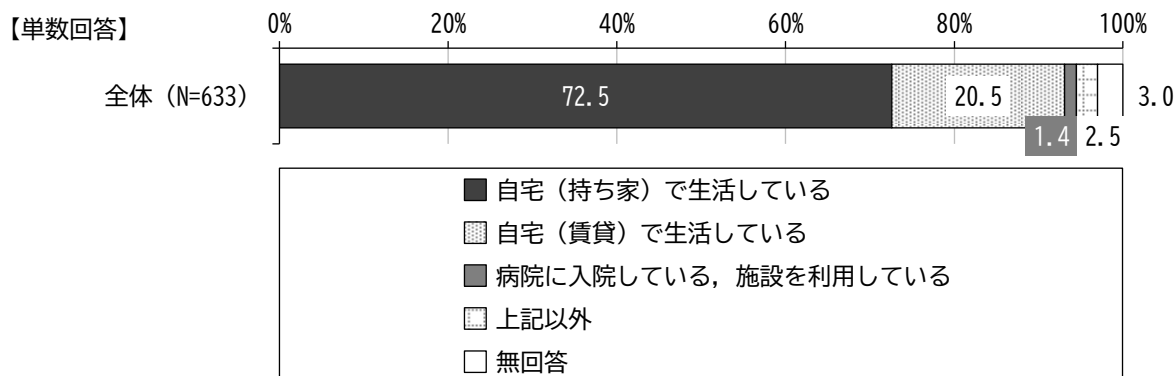
- 居住年数は、「30年以上(59.6%)」が最も多く、「20年以上30年未満(16.1%)」、「10年以上20年未満(9.6%)」が続いている。
- 令和4年度の調査結果と比較すると、大きな変化はみられない。

【単数回答】



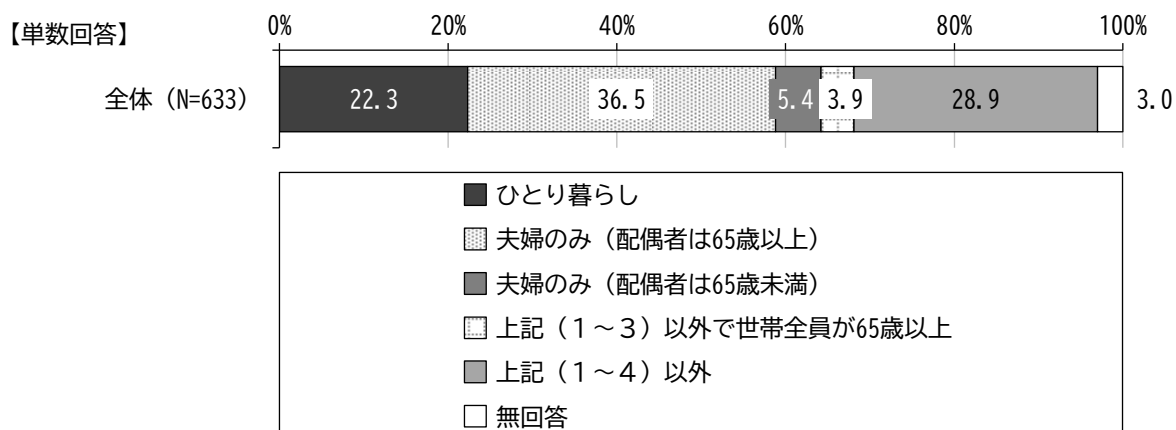
問5 住居形態を教えてください。(1つに○)

- 住居形態は、「自宅（持ち家）で生活している（72.5%）」が最も多く、「自宅（賃貸）で生活している（20.5%）」、「上記以外（2.5%）」が続いている。



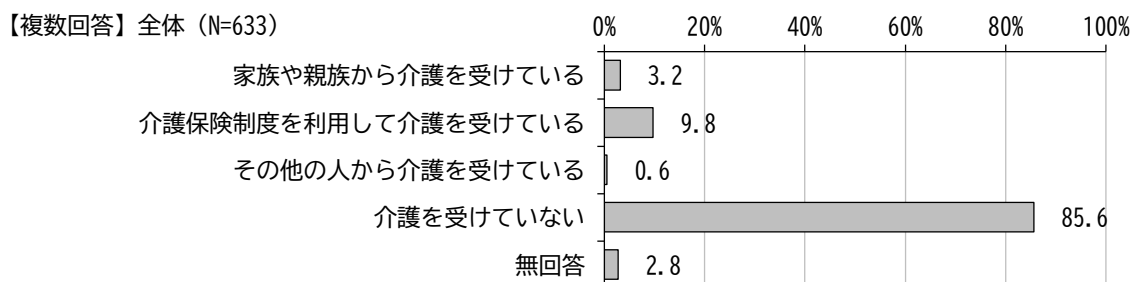
問6 同居している家族構成を教えてください。(1つに○)

- 家族構成は、「夫婦のみ（配偶者は65歳以上）（36.5%）」が最も多く、「上記（1～4）以外（28.9%）」、「ひとり暮らし（22.3%）」が続いている。



問7 あなたは現在、介護を受けていますか。(いくつでも○)

- 介護の状況は、「介護を受けていない（85.6%）」が最も多く、「介護保険制度を利用して介護を受けている（9.8%）」、「家族や親族から介護を受けている（3.2%）」が続いている。

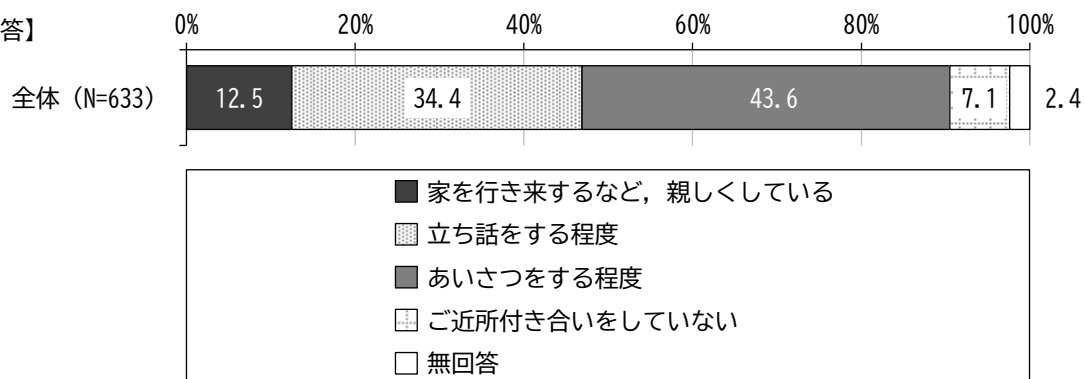


2 日頃のコミュニケーションについておたずねします

問8 ご近所付き合いは、どの程度していますか。(主なもの1つに○)

- 近所付き合いの状況は、「あいさつをする程度（43.6%）」が最も多く、「立ち話をする程度（34.4%）」、「家を行き来するなど、親しくしている（12.5%）」が続いている。
- 「家を行き来するなど、親しくしている」と「立ち話をする程度」を合わせた『親密な近所付き合いをしている』割合は46.9%となっている。

【単数回答】



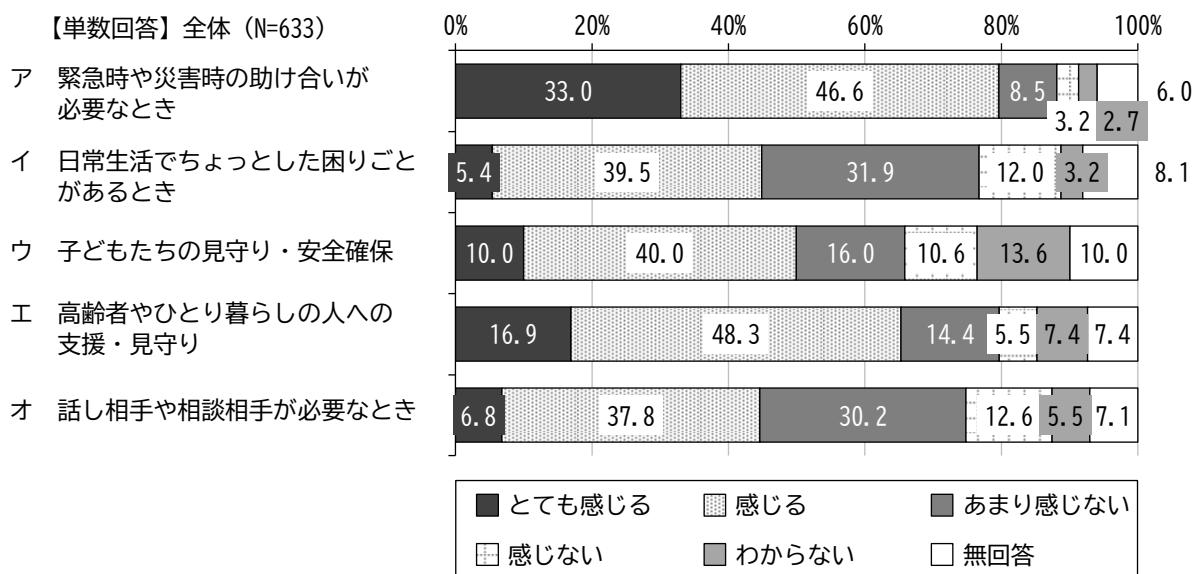
－ 回答者属性分析 －

- 近所付き合いの状況の割合を性別にみると、『親密な近所付き合いをしている』の割合は、男性で38.0％、女性で53.9％となっている。
- 福祉圏域別にみると、『親密な近所付き合いをしている』の割合は、上ノ原・柏野小学校地域で31.8％と、それ以外の地域と比べて少なくなっている。
- 家族構成別にみると、『親密な近所付き合いをしている』の割合は、ひとり暮らしで52.5％、夫婦のみで45.6％、その他の世帯で48.1％となっている。

単位：％		親家 しく 行く して 来る など ，	立 ち 話 を す る 程 度	あ い さ つ を す る 程 度	い ご 近 所 付 き 合 い を し て	無 回 答	を『親密な近所付き合い をしている』
全体 (N=633)		12.5	34.4	43.6	7.1	2.4	46.9
性 別	男性 (n=253)	9.1	28.9	49.8	8.7	3.6	38.0
	女性 (n=356)	14.3	39.6	38.5	6.2	1.4	53.9
	その他 (n=2)	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
福 祉 圏 域 別	緑ヶ丘・滝坂 (n=72)	12.5	31.9	43.1	8.3	4.2	44.4
	若葉・調和 (n=58)	12.1	34.5	46.6	6.9	0.0	46.6
	上ノ原・柏野 (n=66)	1.5	30.3	63.6	3.0	1.5	31.8
	北ノ台・深大寺 (n=66)	16.7	36.4	37.9	7.6	1.5	53.1
	第二・八雲台・国領 (n=102)	10.8	37.3	40.2	9.8	2.0	48.1
	染地・杉森・布田 (n=79)	20.3	36.7	36.7	2.5	3.8	57.0
	第一・富士見台・多摩川 (n=71)	8.5	35.2	45.1	9.9	1.4	43.7
構 成 別 家 族	第三・石原・飛田給 (n=94)	11.7	38.3	39.4	8.5	2.1	50.0
	ひとり暮らし (n=141)	15.6	36.9	37.6	9.9	0.0	52.5
	夫婦のみ (n=265)	11.3	34.3	48.3	6.0	0.0	45.6
構 成 別 家 族	その他の世帯 (n=208)	12.5	35.6	43.8	7.2	1.0	48.1

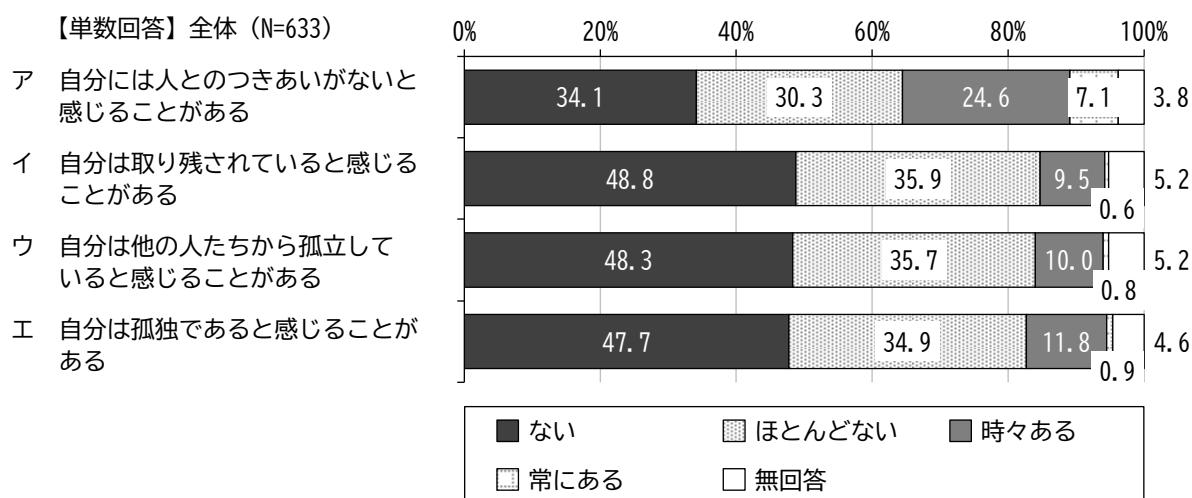
問9 どのような時にご近所付き合いの必要性を感じますか。(それぞれ1つに○)

- 近所付き合いの必要性について、「とても感じる」と「感じる」を合わせた『感じる』の割合は、[ア 緊急時や災害時の助け合いが必要なとき (79.6%)] が最も多く、[エ 高齢者やひとり暮らしの人への支援・見守り (65.2%)], [ウ 子どもたちの見守り・安全確保 (50.0%)] が続いている。
- 一方、「あまり感じない」と「感じない」を合わせた『感じない』の割合は、[イ 日常生活でちょっとした困りごとがあるとき (43.9%)] が最も多く、[オ 話し相手や相談相手が必要なとき (42.8%)], [ウ 子どもたちの見守り・安全確保 (26.6%)] が続いている。



問 10 次の項目についてあなたはどれくらいの頻度で感じていますか。
(それぞれ1つに○)

- 孤独・孤立の状況について、「時々ある」と「常にある」を合わせた『ある』の割合は、
[ア 自分には人とのつきあいが無いと感ずることがある (31.7%)] が最も多く、[エ 自分は孤独であると感じることがある (12.7%)], [ウ 自分は他の人たちから孤立していると感じることがある (10.8%)] が続いている。



－ 孤独感尺度 －

- 「UCLA孤独感尺度 (日本語版の3項目短縮版)」 (本編 25 ページ参照) による間接質問のスコア化の結果を年代別にみると、65～69 歳で [決してない] が最も多く、それ以外の年代で [ほとんどない] が最も多くなっている。

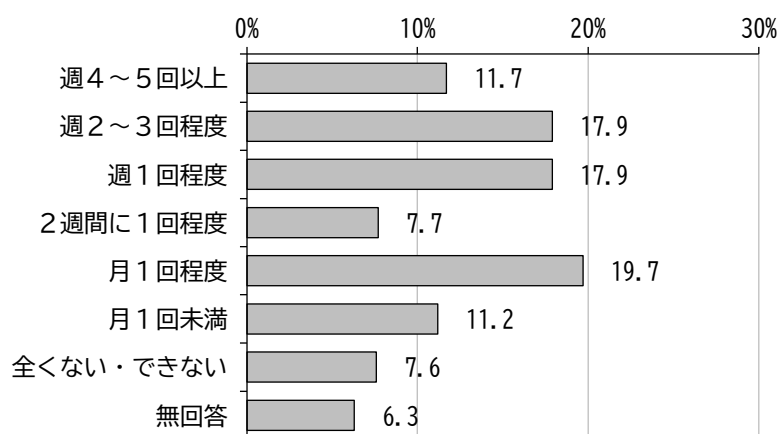
単位：%		決してない	ほとんどない	時々ある	常にある	無回答
全体 (N=633)		30.8	40.3	21.6	1.6	5.7
年代別	65～69歳 (n=135)	36.3	34.1	25.2	1.5	3.0
	70～74歳 (n=112)	26.8	44.6	25.9	1.8	0.9
	75～79歳 (n=148)	33.1	38.5	22.3	1.4	4.7
	80～84歳 (n=105)	28.6	41.9	20.0	1.0	8.6
	85歳以上 (n=113)	25.7	44.2	15.0	2.7	12.4

問 11 家族や友人たちとのコミュニケーション頻度についておたずねします。あなたと同居していない家族や友人たちとのコミュニケーション頻度について、お答えください。（それぞれ1つに○）

ア 直接会って話す（手話等を含む）

○ 直接会って話す（手話等を含む）頻度は、「月1回程度（19.7%）」が最も多く、「週2～3回程度（17.9%）」、「週1回程度（17.9%）」が続いている。

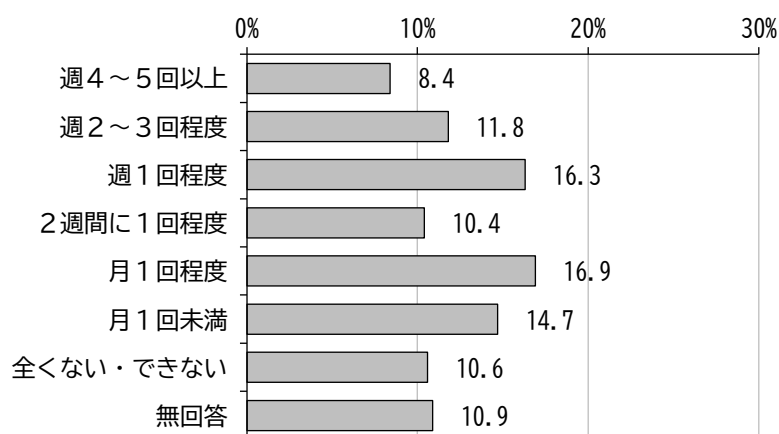
【単数回答】全体（N=633）



イ 電話（ビデオ通話含む）

○ 電話（ビデオ通話含む）の頻度は、「月1回程度（16.9%）」が最も多く、「週1回程度（16.3%）」、「月1回未満（14.7%）」が続いている。

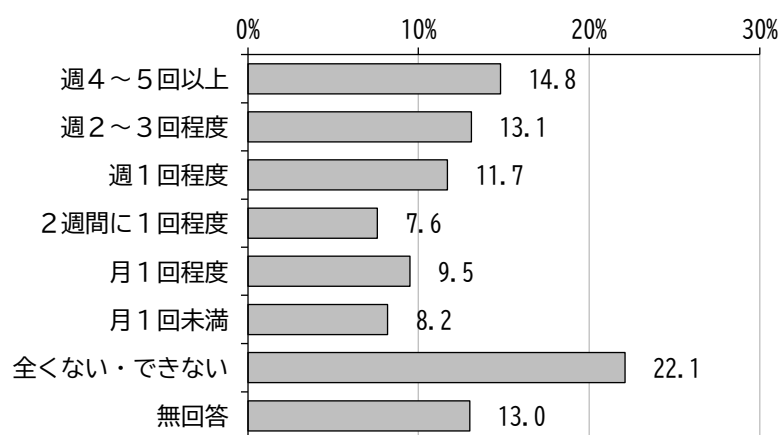
【単数回答】全体（N=633）



ウ SNSや電子メールなど

- SNSや電子メールなどの頻度は、「全くない・できない (22.1%)」が最も多く、「週4～5回以上 (14.8%)」、「週2～3回程度 (13.1%)」が続いている。

【単数回答】全体 (N=633)

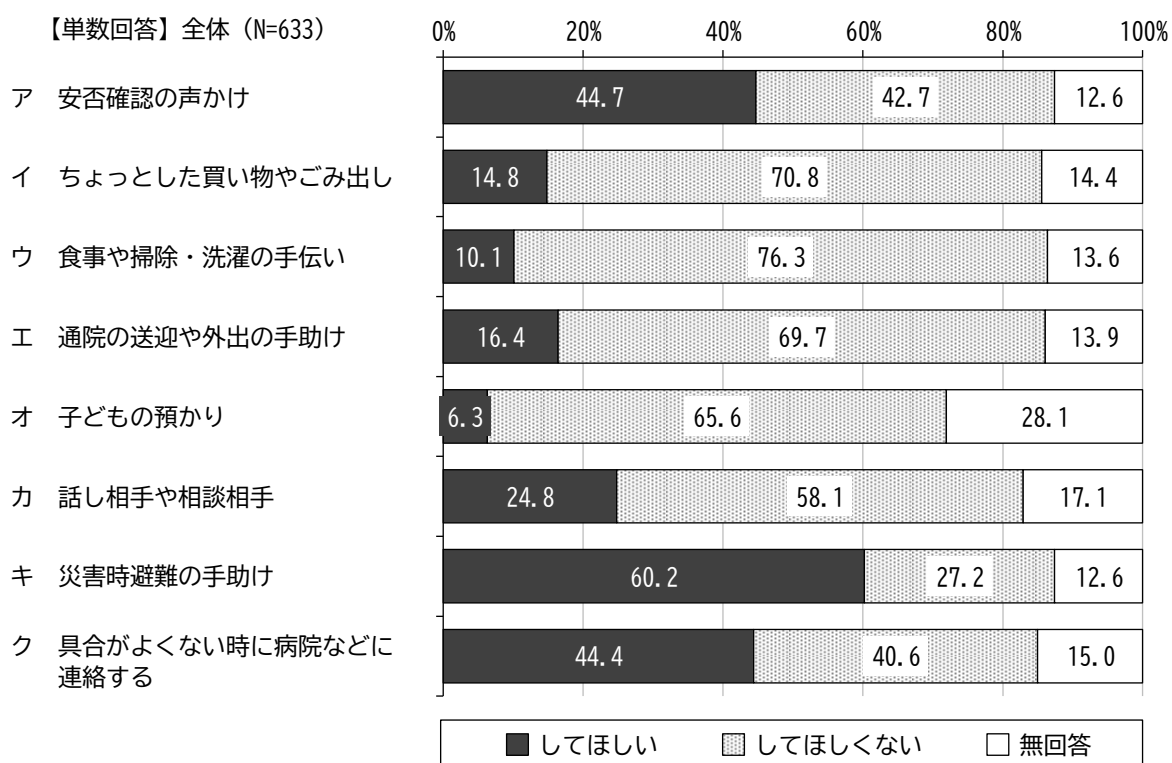


3 市民同士の支え合い、地域活動についておたずねします

問 12 あなたは次の事柄について、家族以外のまわりの人から手助けをしてほしいと思いますか。また、まわりの人に手助けできること（してもいいこと）はありますか。
①手助けしてほしいか、②手助けできるかについて、それぞれ1つに○を付けてください。

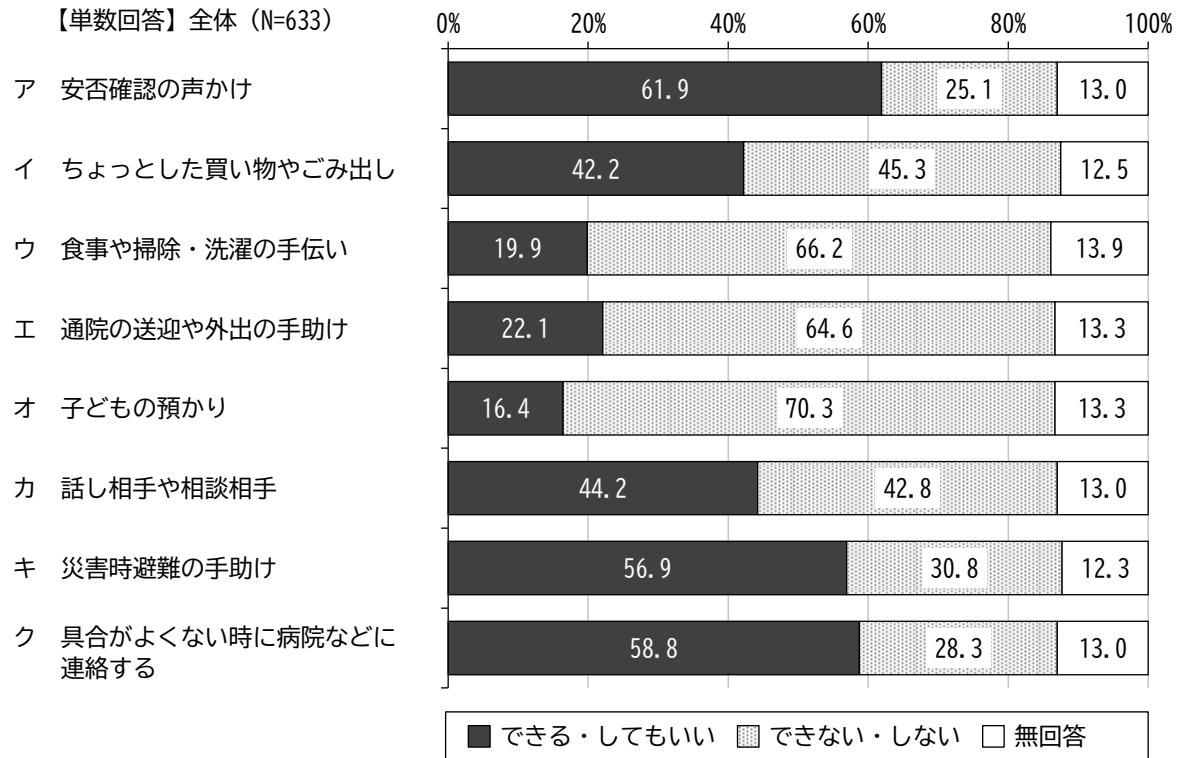
①手助けしてほしいか

○ 手助けを「してほしい」の割合は、[キ 災害時避難の手助け（60.2%）]が最も多く、[ア 安否確認の声かけ（44.7%）]，[ク 具合がよくない時に病院などに連絡する（44.4%）]が続いている。



②手助けできるか

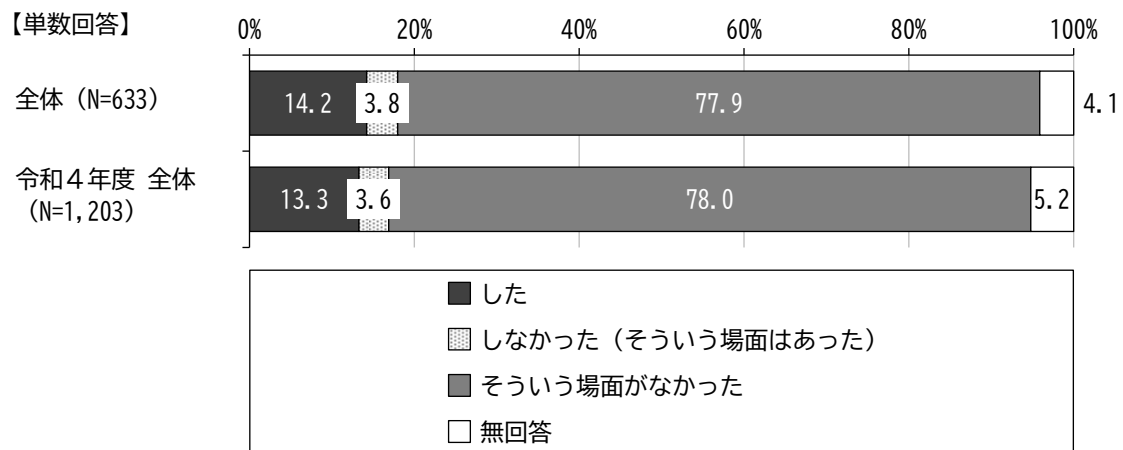
- 手助けを「できる・してもいい」の割合は、[ア 安否確認の声かけ (61.9%)] が最も多く、[ク 具合がよくない時に病院などに連絡する (58.8%)], [キ 災害時避難の手助け (56.9%)] が続いている。



問 13 この１年で、家族以外のまわりの人に、問 12 ア～クのような手伝いや手助けをしましたか。また、手伝いや手助けをしてもらいましたか。（それぞれ１つに○）

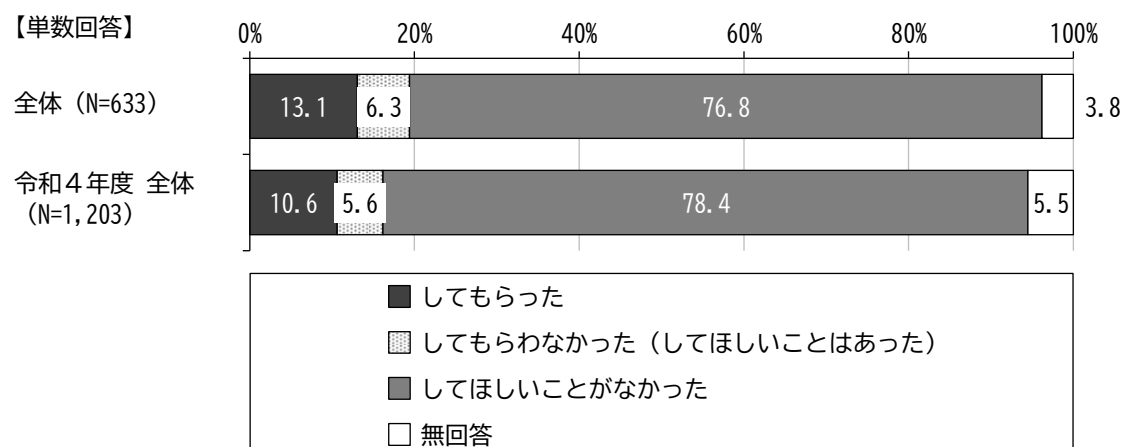
①手伝いや手助けをしたか

- この１年で家族以外のまわりの人に手伝いや手助けをした経験は、「そういう場面がなかった（77.9%）」が最も多く、「した（14.2%）」、「しなかった（そういう場面はあった）（3.8%）」が続いている。
- 令和４年度の調査結果と比較すると、大きな変化はみられない。



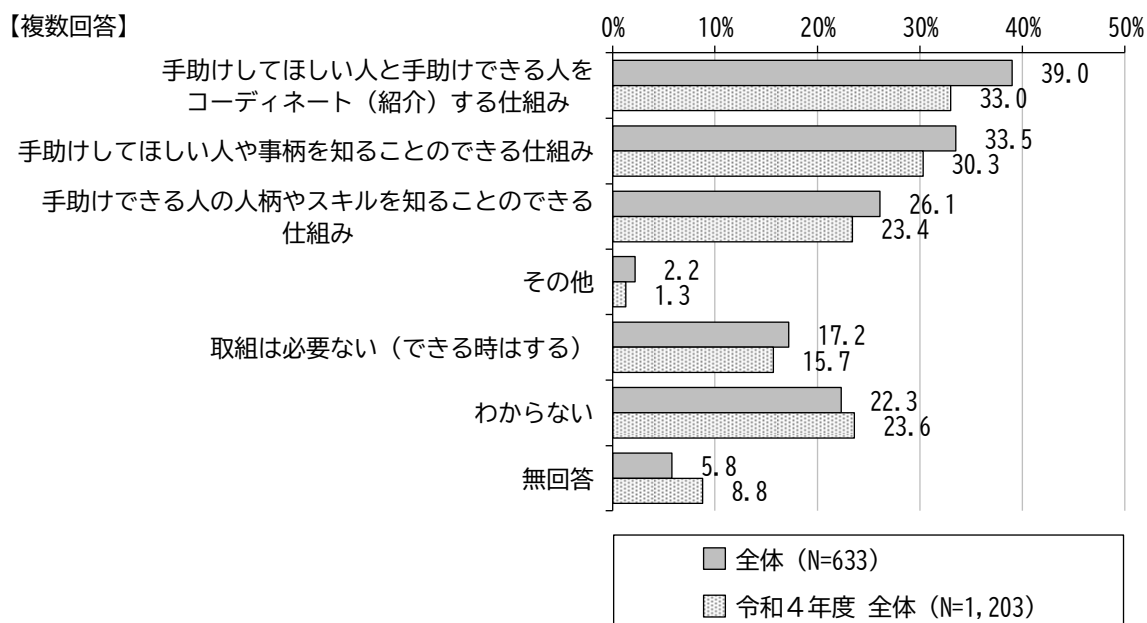
②手伝いや手助けをしてもらったか

- この１年で家族以外のまわりの人に手伝いや手助けをしてもらった経験は、「してほしいことがなかった（76.8%）」が最も多く、「してもらった（13.1%）」、「してもらわなかった（してほしいことはあった）（6.3%）」が続いている。
- 令和４年度の調査結果と比較すると、大きな変化はみられない。



問 14 家族以外のまわりの人に、問 12 ア～クのような手伝いや手助けをする（してもらう）にあたり、どのような取組があるとよいと思いますか。（いくつでも○）

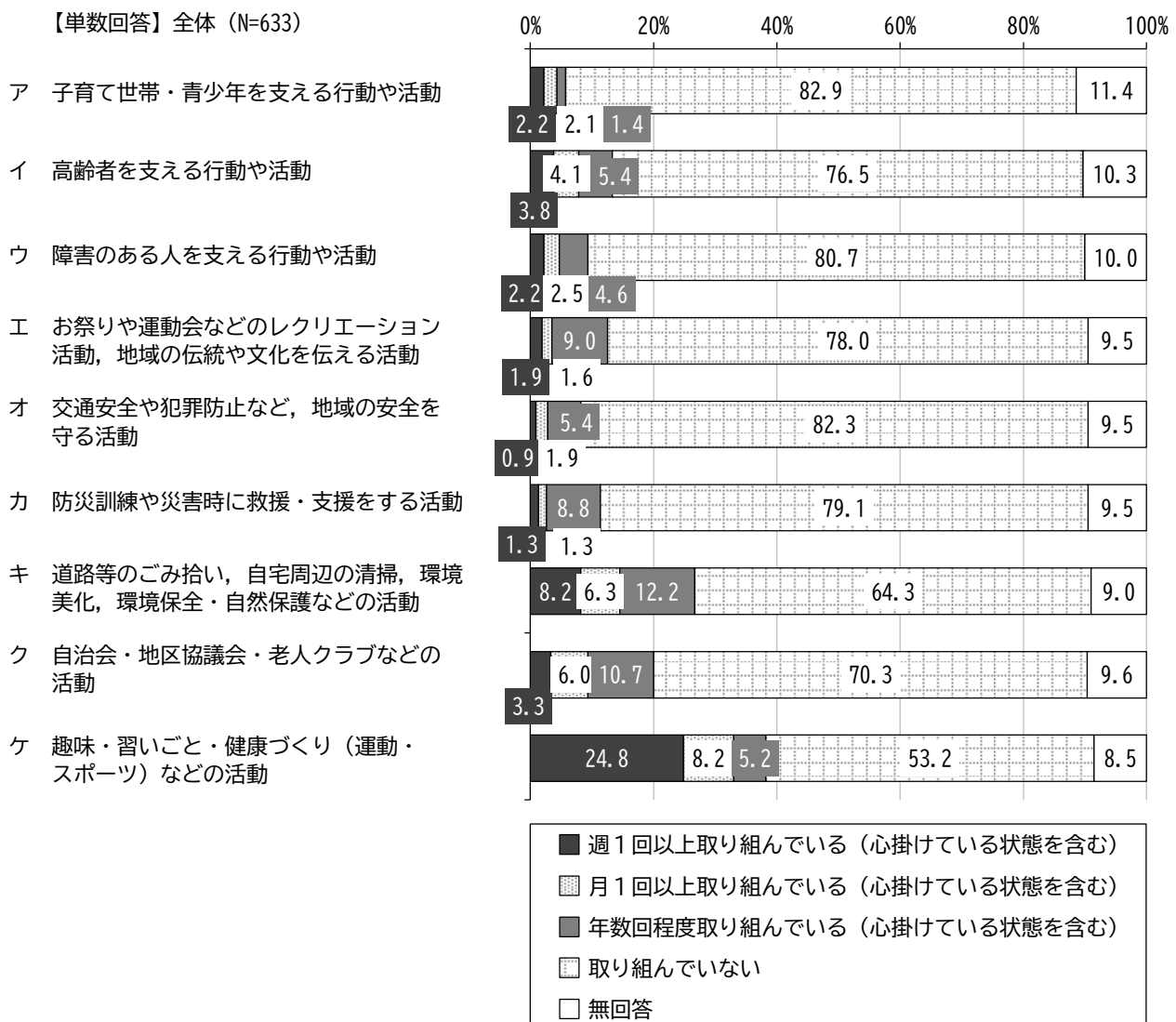
- 家族以外のまわりの人に手伝いや手助けをする（してもらう）にあたり、あるとよい取組は、「手助けしてほしい人と手助けできる人をコーディネート（紹介）する仕組み（39.0%）」が最も多く、「手助けしてほしい人や事柄を知ることのできる仕組み（33.5%）」、「手助けできる人の人柄やスキルを知ることのできる仕組み（26.1%）」が続いている。
- 令和4年度の調査結果と比較すると、「手助けしてほしい人と手助けできる人をコーディネート（紹介）する仕組み」が6.0ポイント高くなっている。



問 15 あなたは地域での活動に参加したり，地域のために日頃から心掛けていることはありますか。①現在の状況，②今後の意向をお答えください。（それぞれ1つに○）

①現在の状況

- 地域での活動等の取組状況は，[ケ 趣味・習いごと・健康づくり（運動・スポーツ）などの活動]を除くすべての活動で「取り組んでいない」が6割を超えている。
- 「週1回以上取り組んでいる（心掛けている状態を含む）」と「月1回以上取り組んでいる（心掛けている状態を含む）」と「年数回程度取り組んでいる（心掛けている状態を含む）」を合わせた『取り組んでいる』の割合は，[ケ 趣味・習いごと・健康づくり（運動・スポーツ）などの活動（38.2%）]が最も多く，[キ 道路等のごみ拾い，自宅周辺の清掃，環境美化，環境保全・自然保護などの活動（26.7%）]，[ク 自治会・地区協議会・老人クラブなどの活動（20.0%）]が続いている。



－ 回答者属性分析 －

- 地域での活動等に『取り組んでいる』の割合を福祉圏域別にみると、すべての地域で
[ケ 趣味・習いごと・健康づくり（運動・スポーツ）などの活動] が最も多くなっている。

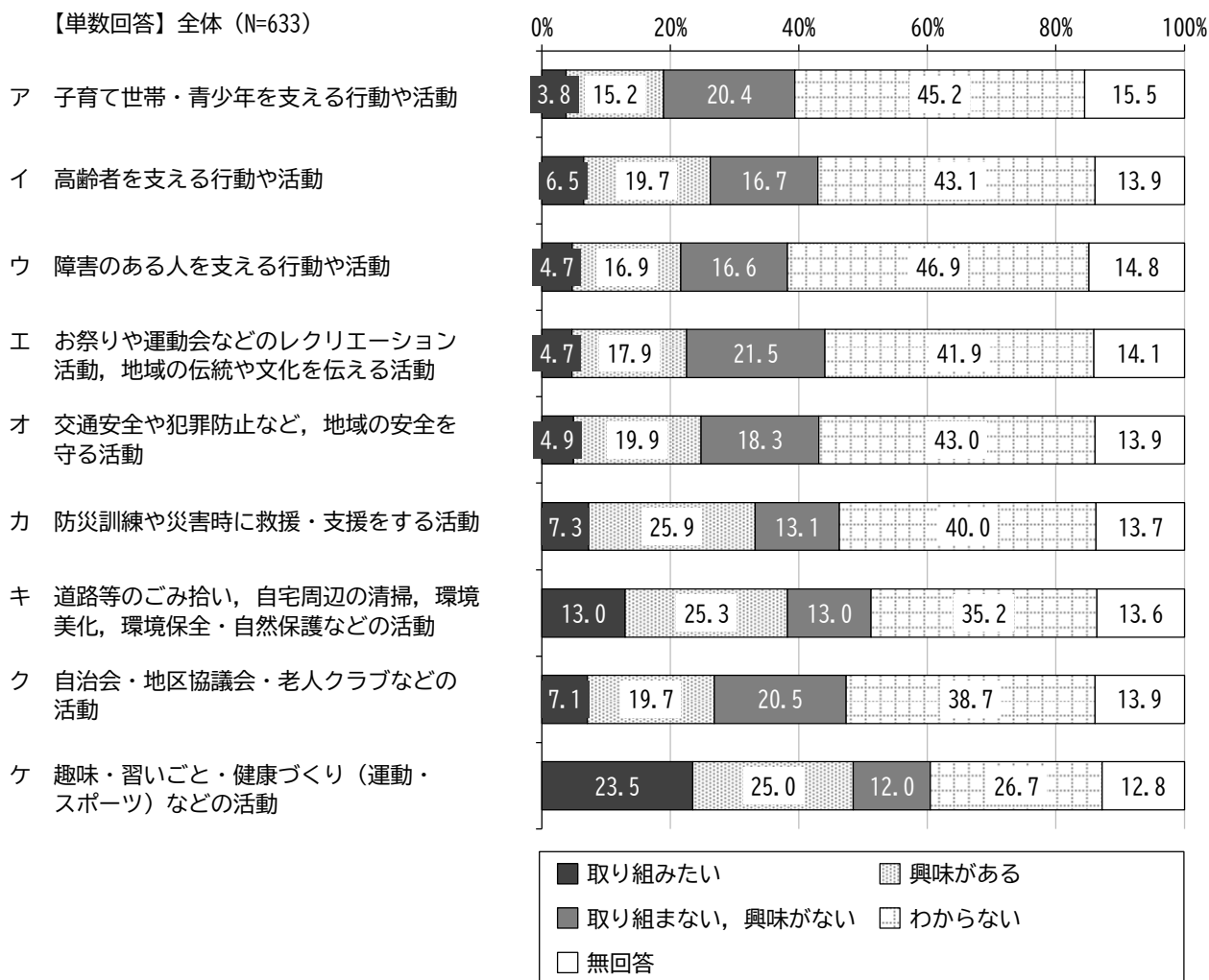
<『取り組んでいる』の割合>

単位：％		ア 子育 て世 帯・ 活 動 ・ 青 少 年 を 支 え	イ 高 齢 者 を 支 え る 行 動 や 活 動	ウ 障 害 の あ る 人 を 支 え る 行 動	エ 伝 統 的 な 文 化 を 伝 え る 活 動 の レ ク ス	オ お 祭 り や 運 動 会 な ど の レ ク ス	カ 地 域 の 安 全 や 犯 罪 防 止 な ど の 活 動	キ 防 災 訓 練 や 災 害 時 に 救 援 ・ 支 援 す る 活 動	ク 保 全 ・ 自 然 ・ 環 境 美 化 の 活 動	ケ 道 路 等 の ご み 拾 い 、 自 宅 周 辺 の 清 掃 、 環 境 美 化 の 活 動	ケ 自 治 会 な ど の 区 協 議 会 ・ 老 人 の 活 動	ケ 趣 味 ・ 運 動 ・ 習 い ご と ・ 健 康 な づ く の 活 動
全体 (N=633)		5.7	13.3	9.3	12.5	8.2	11.4	26.7	20.0	38.2		
福祉圏域別	緑ヶ丘・滝坂 (n=72)	4.2	15.3	12.5	12.5	8.3	11.1	26.4	18.1	36.1		
	若葉・調和 (n=58)	5.1	13.8	6.8	15.5	8.6	12.0	22.3	20.6	44.8		
	上ノ原・柏野 (n=66)	7.5	6.0	6.0	10.6	7.5	7.5	21.1	15.1	40.9		
	北ノ台・深大寺 (n=66)	6.0	18.2	6.0	10.6	9.1	10.6	36.3	27.2	46.9		
	第二・八雲台・国領 (n=102)	6.0	15.7	14.7	7.8	9.8	14.7	30.3	14.6	35.3		
	染地・杉森・布田 (n=79)	7.6	13.9	6.3	15.2	6.4	11.4	26.6	26.5	34.2		
	第一・富士見台・多摩川 (n=71)	5.6	11.2	5.6	15.5	9.9	9.9	28.1	19.7	39.4		
	第三・石原・飛田給 (n=94)	5.3	13.9	13.9	14.9	8.5	12.8	21.3	23.4	38.3		

②今後の意向

- 地域での活動等の今後の取組意向について、「取り組みたい」と「興味がある」の合計割合は、[ケ 趣味・習いごと・健康づくり（運動・スポーツ）などの活動（48.5%）]が最も多く、[キ 道路等のごみ拾い，自宅周辺の清掃，環境美化，環境保全・自然保護などの活動（38.3%）]，[カ 防災訓練や災害時に救援・支援をする活動（33.2%）]が続いている。

【単数回答】全体（N=633）



－ 回答者属性分析 －

- 地域での活動等の今後の取組意向について、「取り組みたい」と「興味がある」の合計割合を福祉圏域別にみると、すべての地域で〔ケ 趣味・習いごと・健康づくり（運動・スポーツ）などの活動〕が最も多くなっている。

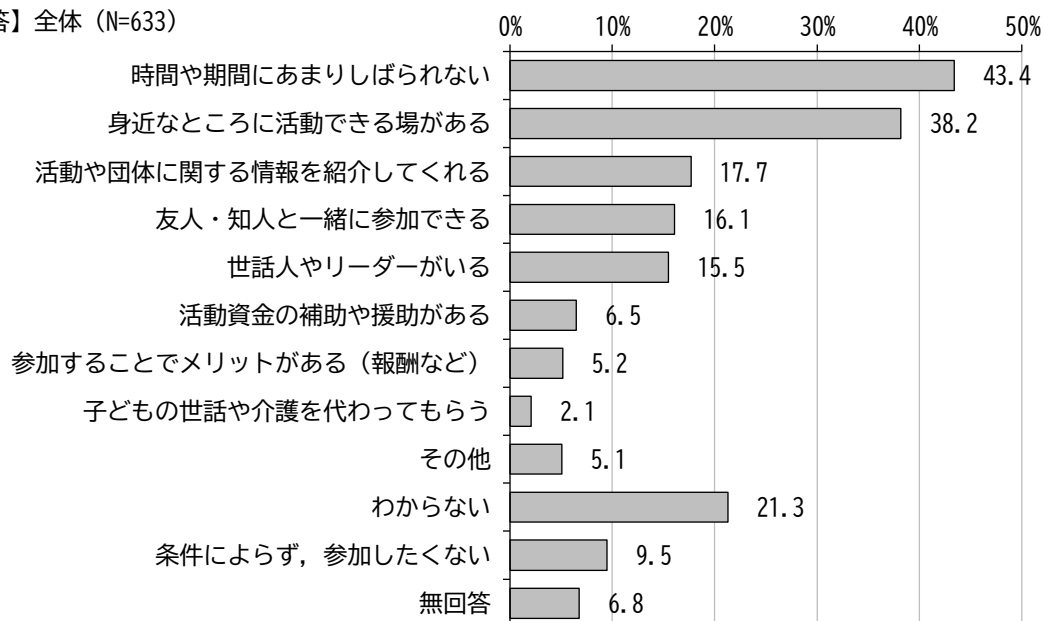
<「取り組みたい」と「興味がある」の合計割合>

単位：％		ア 子育 て世 帯・ 青少 年を 支え る行 動や 活動	イ 高 齢者 を支 える 行 動や 活動	ウ 障 害の ある 人 を支 える 行 動	エ お祭 りや 運動 会な ど、 地レ のク	オ 交 通の 安全 や犯 罪防 止な ど、	カ 防 災訓 練や 災害 時に 救援・	キ 辺 道の 清掃 の、 環境 美化、 自 宅周 境	ク 自 治会 など の活 動	ケ の活 動（ 趣味・ 運動・ 習い ごと・ 健康 づく り）
全体（N=633）		19.0	26.2	21.6	22.6	24.8	33.2	38.3	26.8	48.5
福祉圏域別	緑ヶ丘・滝坂（n=72）	20.9	25.0	25.0	30.5	25.0	33.4	43.0	36.1	55.6
	若葉・調和（n=58）	17.3	22.4	17.2	22.4	24.1	34.4	37.9	29.3	50.0
	上ノ原・柏野（n=66）	15.1	22.7	22.7	22.7	24.2	40.9	37.9	22.7	50.0
	北ノ台・深大寺（n=66）	21.2	30.3	27.2	28.8	33.3	37.9	46.9	37.9	57.6
	第二・八雲台・国領（n=102）	19.6	28.4	26.5	18.6	26.5	30.4	35.3	21.5	44.1
	染地・杉森・布田（n=79）	17.7	22.8	12.7	19.0	21.6	29.1	35.5	26.6	44.3
	第一・富士見台・多摩川（n=71）	22.5	29.6	21.1	23.9	25.3	35.3	45.1	22.5	49.3
	第三・石原・飛田給（n=94）	20.3	28.7	22.3	19.2	24.4	33.0	30.8	24.5	44.6

問 16 どのような条件であれば、地域活動・ボランティア活動に参加・活動しやすいですか。(いくつでも○)

- 地域活動・ボランティア活動に参加・活動しやすい条件は、「時間や期間にあまりしばられない(43.4%)」が最も多く、「身近なところに活動できる場がある(38.2%)」、「わからない(21.3%)」が続いている。

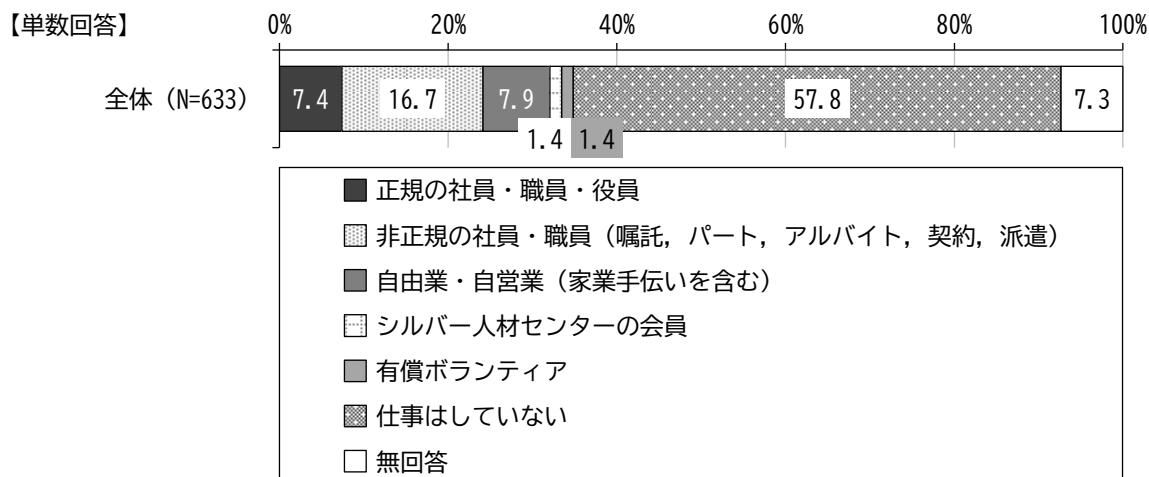
【複数回答】全体 (N=633)



4 就労についておたずねします

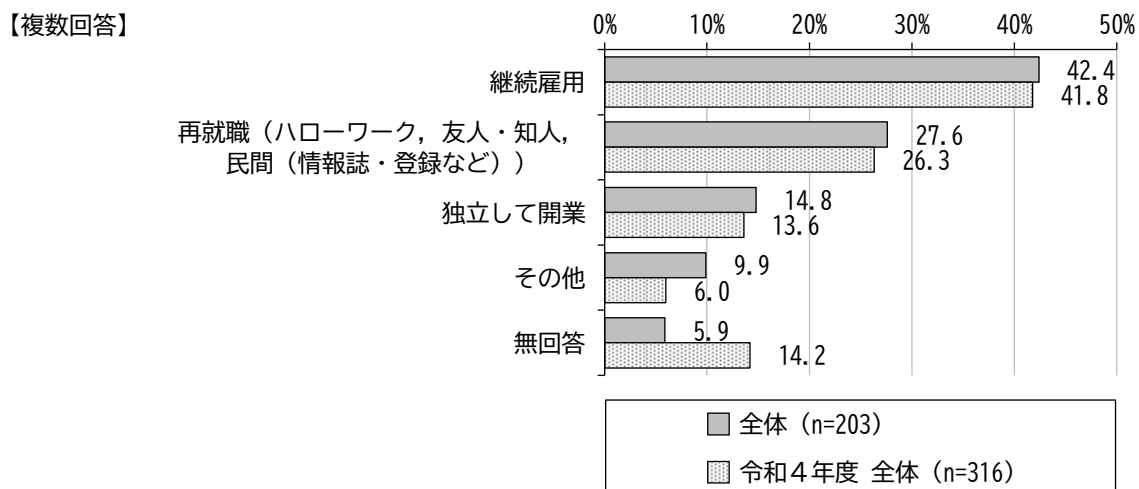
問 17 現在の職業を教えてください。(1つに○)

- 現在の職業は、「仕事はしていない (57.8%)」が最も多く、「非正規の社員・職員 (嘱託, パート, アルバイト, 契約, 派遣) (16.7%)」, 「自由業・自営業 (家業手伝いを含む) (7.9%)」が続いている。



付問 問 17 で「1～3 (会社などで働いている)」と答えた方におたずねします。
現在の職業に就いている経緯を教えてください。(いくつでも○)

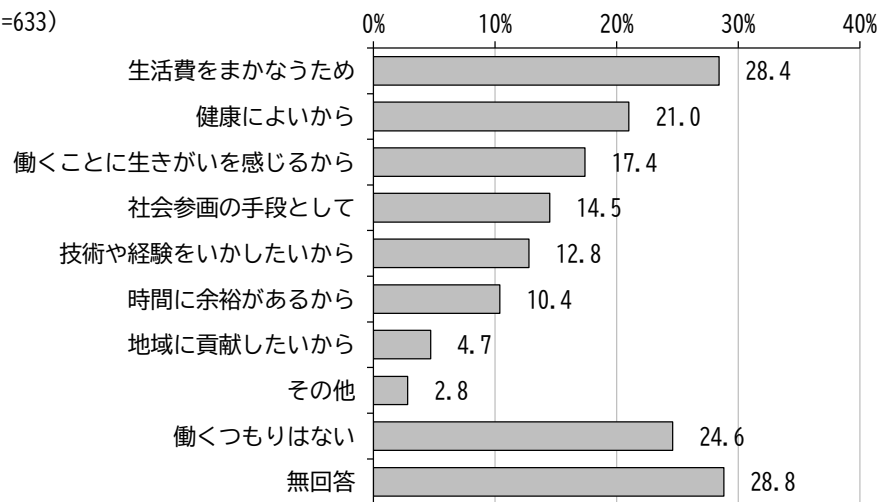
- 現在の職業に就いている経緯は、「継続雇用 (42.4%)」が最も多く、「再就職 (ハローワーク, 友人・知人, 民間 (情報誌・登録など)) (27.6%)」, 「独立して開業 (14.8%)」が続いている。
- 令和4年度の調査結果と比較すると, 大きな変化はみられない。



問 18 あなたが仕事をする（したいと思う）主な理由は何ですか。（いくつでも○）

- 仕事をする（したいと思う）理由は、「生活費をまかなうため（28.4%）」が最も多く、「働くつもりはない（24.6%）」、「健康によいから（21.0%）」が続いている。

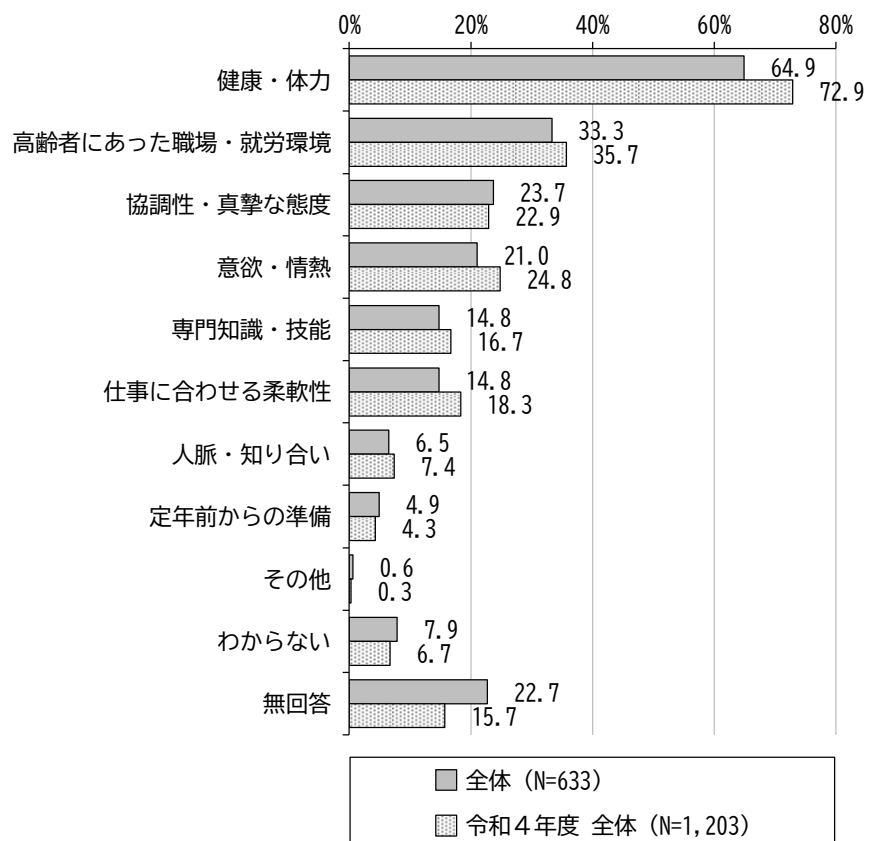
【複数回答】全体（N=633）



問 19 高齢者が就労する（続ける）ために特に必要なことは何ですか。（3つまで○）

- 高齢者が就労する（続ける）ために必要なことは、「健康・体力（64.9%）」が最も多く、「高齢者にあった職場・就労環境（33.3%）」、「協調性・真摯な態度（23.7%）」が続いている。
- 令和4年度の調査結果と比較すると、「健康・体力」が 8.0 ポイント低くなっている。

【複数回答】

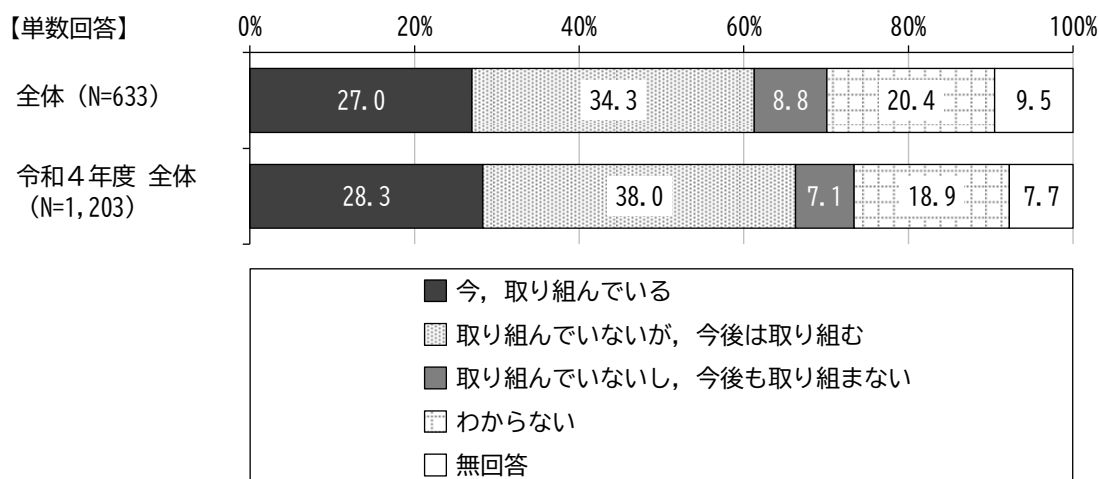


5 健康増進，権利擁護の取組についておたずねします

問 20 あなたは，健やかに暮らすために，次のことに取り組んでいますか。
(それぞれ1つに○)

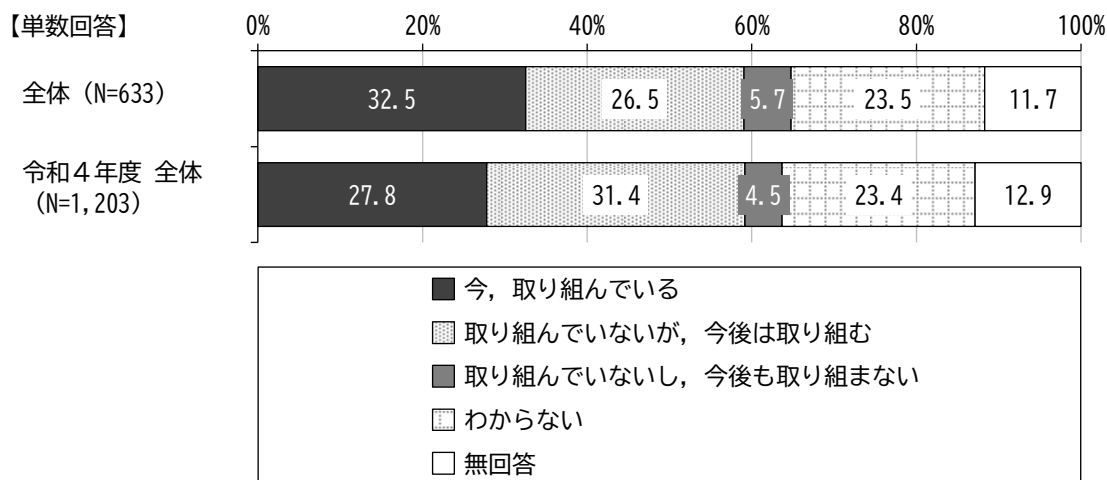
ア 認知症予防

- 認知症予防の取組状況は，「取り組んでいないが，今後は取り組む（34.3%）」が最も多く，「今，取り組んでいる（27.0%）」，「わからない（20.4%）」が続いている。
- 令和4年度の調査結果と比較すると，大きな変化はみられない。



イ フレイル予防

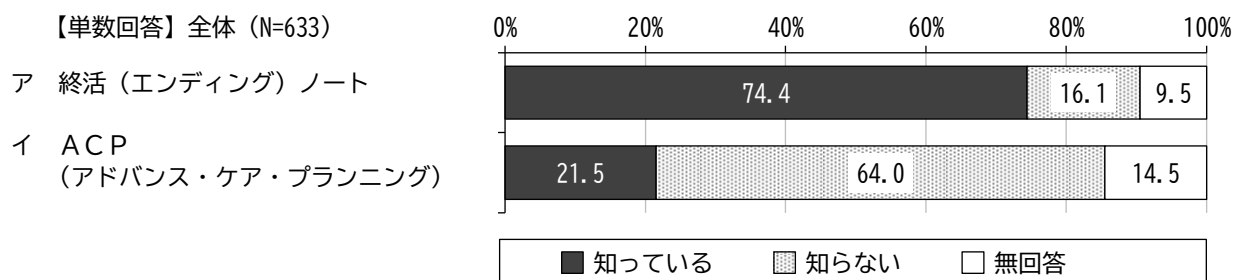
- フレイル予防の取組状況は，「今，取り組んでいる（32.5%）」が最も多く，「取り組んでいないが，今後は取り組む（26.5%）」，「わからない（23.5%）」が続いている。
- 令和4年度の調査結果と比較すると，大きな変化はみられない。



問 21 近年、人生のエンディングに向けて、元気なうちからさまざまな準備をする活動が広がっています。①あなたは、次のような事柄をご存知でしたか。②今後、次のような事柄を活用したいと思いますか。(それぞれ1つに○)

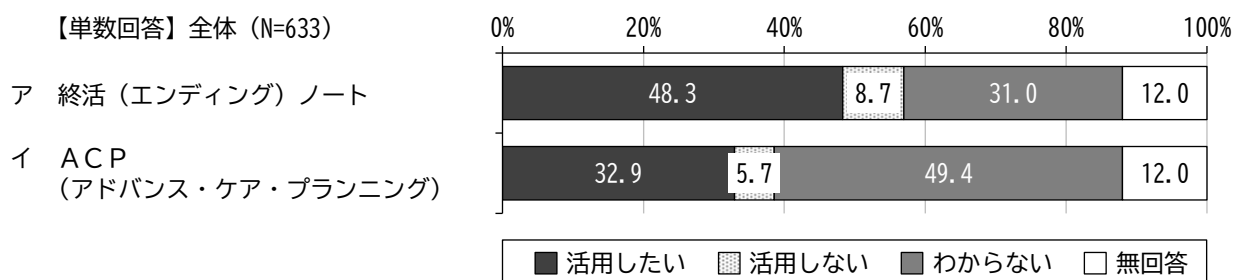
①認知状況

- 人生のエンディングに向けた事柄の認知度について、[ア 終活（エンディング）ノート] は、「知っている（74.4%）」、「知らない（16.1%）」である。
- [イ ACP（アドバンス・ケア・プランニング）] は、「知っている（21.5%）」、「知らない（64.0%）」である。



②今後の意向

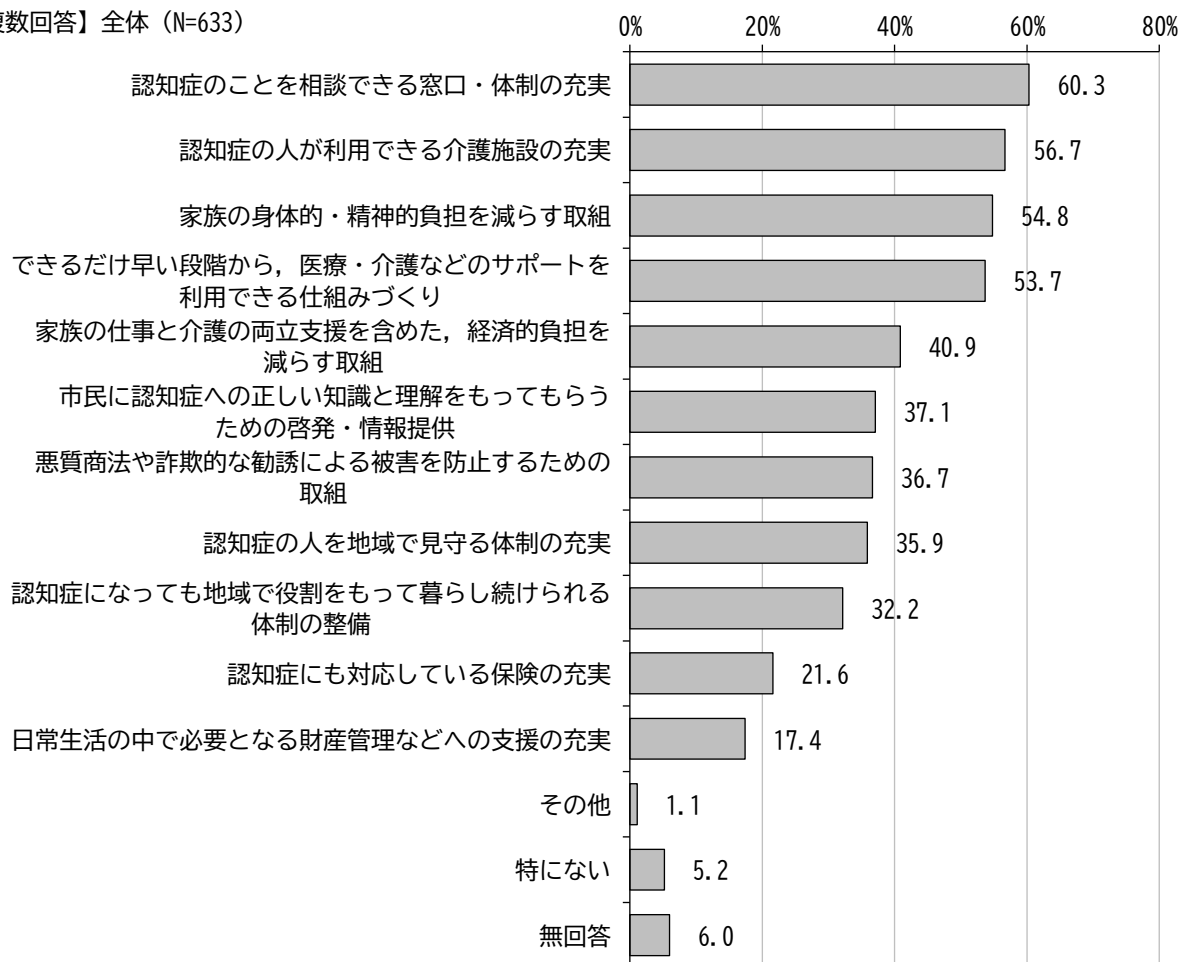
- 人生のエンディングに向けた事柄の利用意向について、[ア 終活（エンディング）ノート] は、「活用したい（48.3%）」が最も多く、「わからない（31.0%）」、「活用しない（8.7%）」が続いている。
- [イ ACP（アドバンス・ケア・プランニング）] は、「わからない（49.4%）」が最も多く、「活用したい（32.9%）」、「活用しない（5.7%）」が続いている。



問 22 認知症の人やその家族を支えるため、どのような取組に力を入れる必要があると思いますか。(いくつでも○)

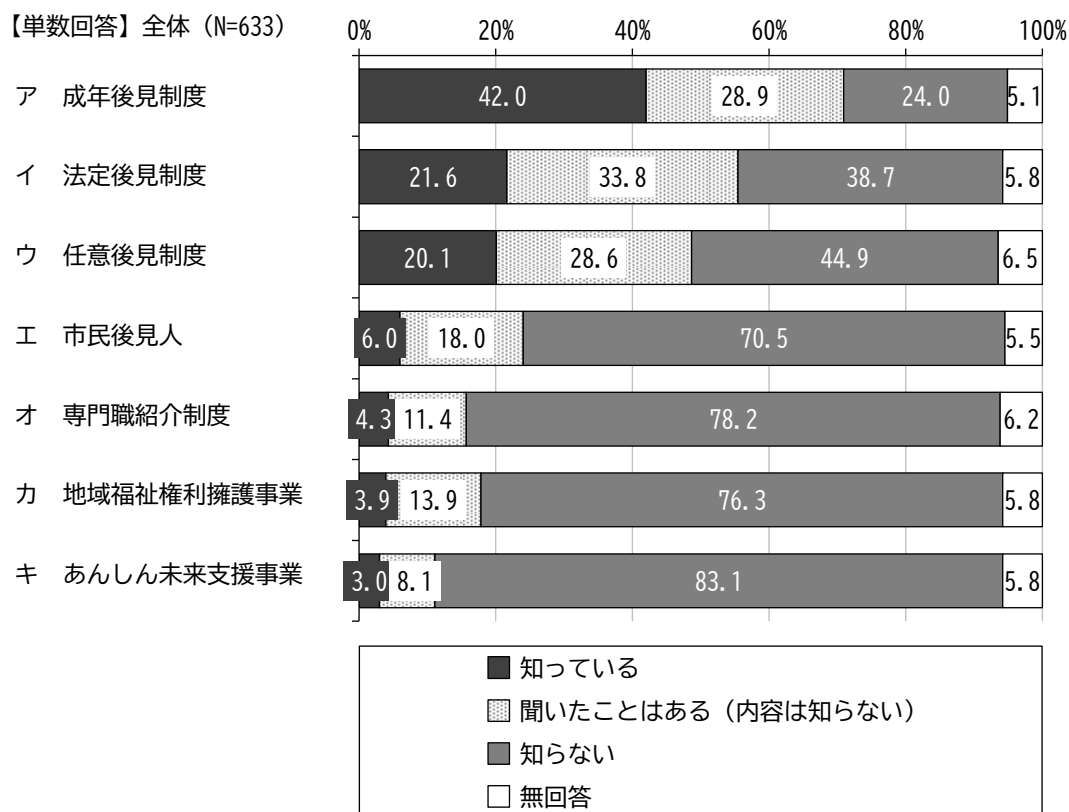
- 認知症の人やその家族を支えるために力を入れる必要がある取組は、「認知症のことを相談できる窓口・体制の充実 (60.3%)」が最も多く、「認知症の人が利用できる介護施設の充実 (56.7%)」、「家族の身体的・精神的負担を減らす取組 (54.8%)」が続いている。

【複数回答】全体 (N=633)



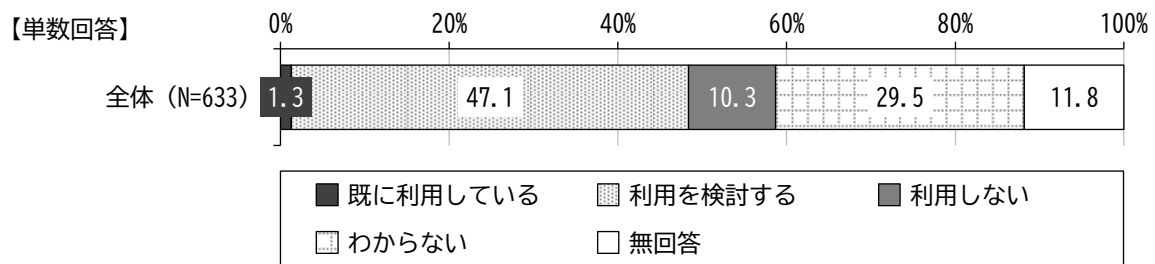
問 23 市や社会福祉協議会等で行っている下記の制度や事業をご存知ですか。
(それぞれ1つに○)

- 市や社会福祉協議会等で行っている市民の権利を守る制度や事業について、「知っている」の割合は,[ア 成年後見制度(42.0%)]が最も多く,[イ 法定後見制度(21.6%)],
[ウ 任意後見制度 (20.1%)]が続いている。



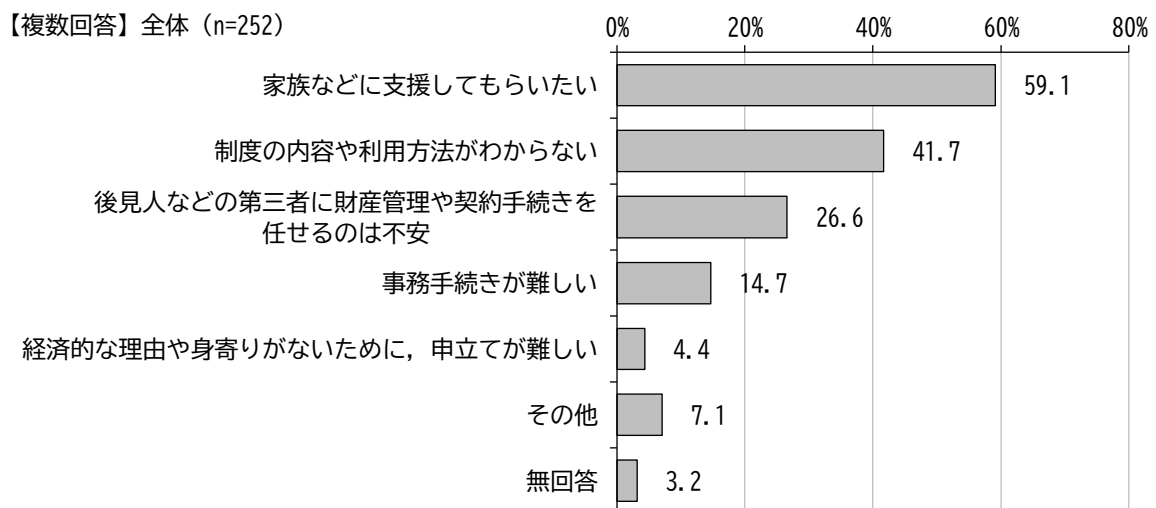
問 24 あなたやご家族のどなたかが認知症などによって判断が十分にできなくなる場合に備えて、あるいは既にできない場合、前問（問 23）のいずれかの制度を利用したいと思いますか。（1 つに○）

○ 問 23 の市や社会福祉協議会等で行っている市民の権利を守る制度や事業の利用意向は、「利用を検討する（47.1%）」が最も多く、「わからない（29.5%）」、「利用しない（10.3%）」が続いている。



付問 問 24 で「3 利用しない」、「4 わからない」と答えた方におたずねします。
制度を利用しない、または、わからないと答えた主な理由は何ですか。
（いくつでも○）

○ 制度を利用しない、または、わからないと答えた主な理由は、「家族などに支援してもらいたい（59.1%）」が最も多く、「制度の内容や利用方法がわからない（41.7%）」、「後見人などの第三者に財産管理や契約手続きを任せるのは不安（26.6%）」が続いている。

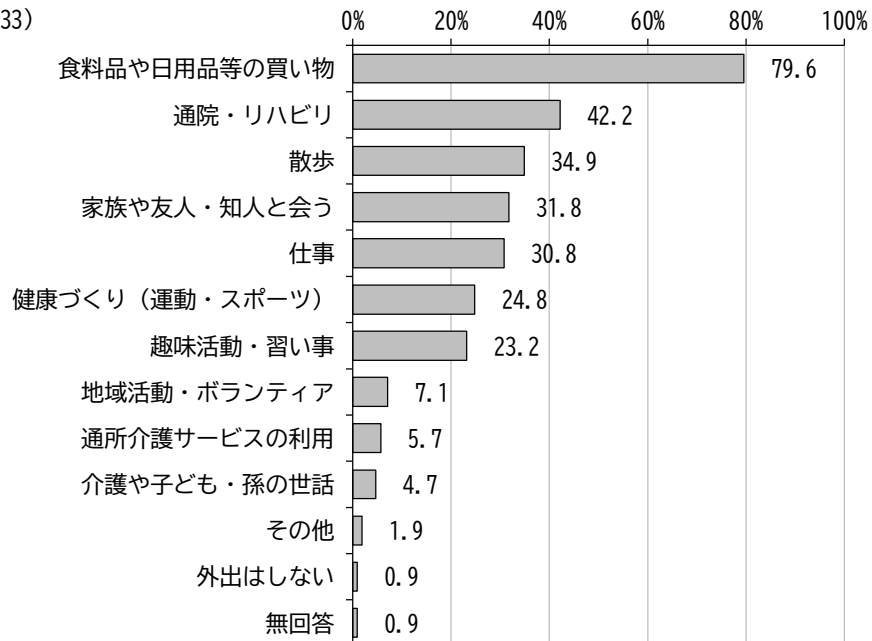


6 暮らしのことについておたずねします

問 25 あなたは主にどのような目的で外出をしますか。(3つまで○)

- 外出の目的は、「食料品や日用品等の買い物 (79.6%)」が最も多く、「通院・リハビリ (42.2%)」、「散歩 (34.9%)」が続いている。

【複数回答】全体 (N=633)

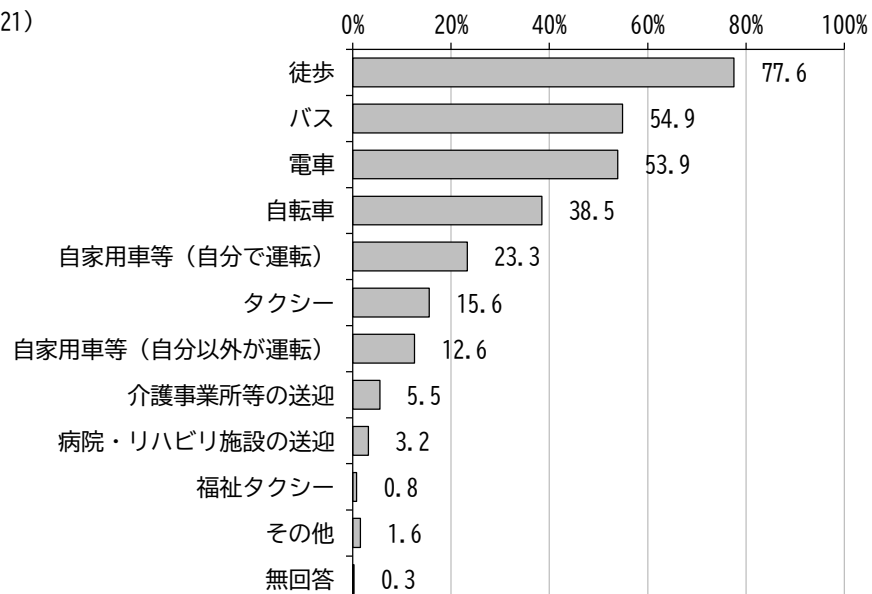


付問 前問 (問 25) で「1～11 (さまざまな目的で外出をする)」のいずれかに答えた方におたずねします。

利用している移動手段は何ですか。(いくつでも○)

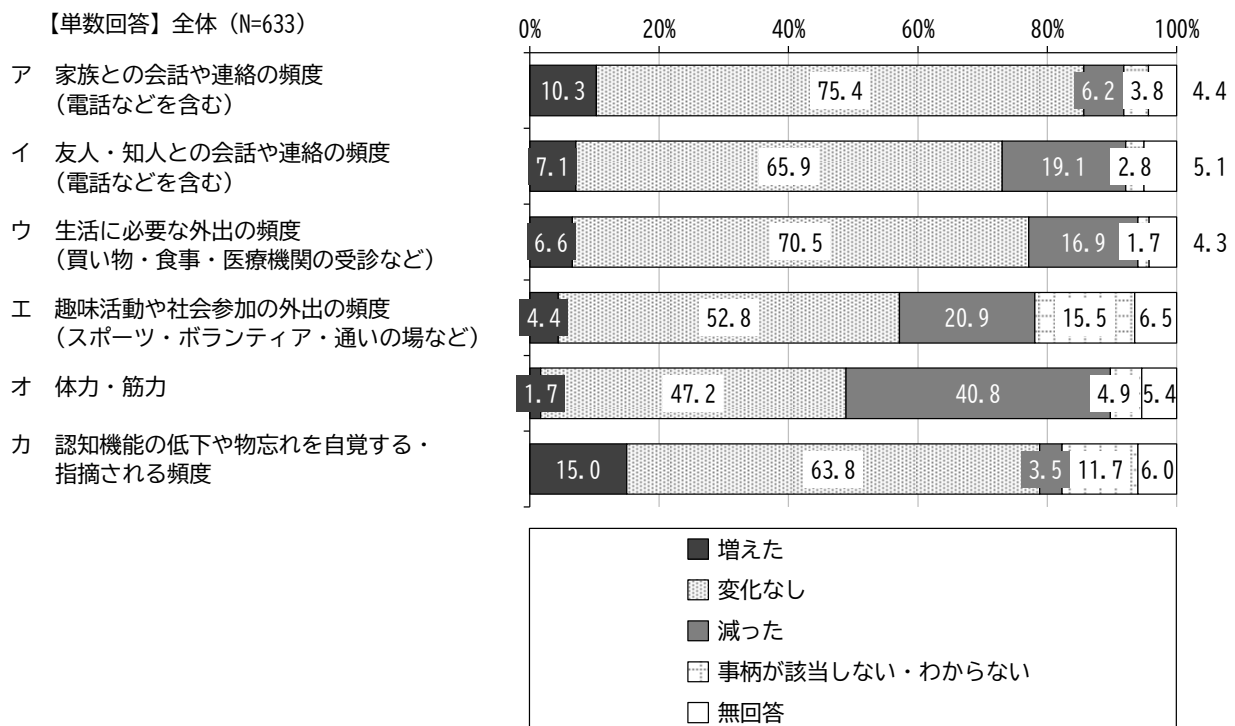
- 利用している移動手段は、「徒歩 (77.6%)」が最も多く、「バス (54.9%)」、「電車 (53.9%)」が続いている。

【複数回答】全体 (n=621)

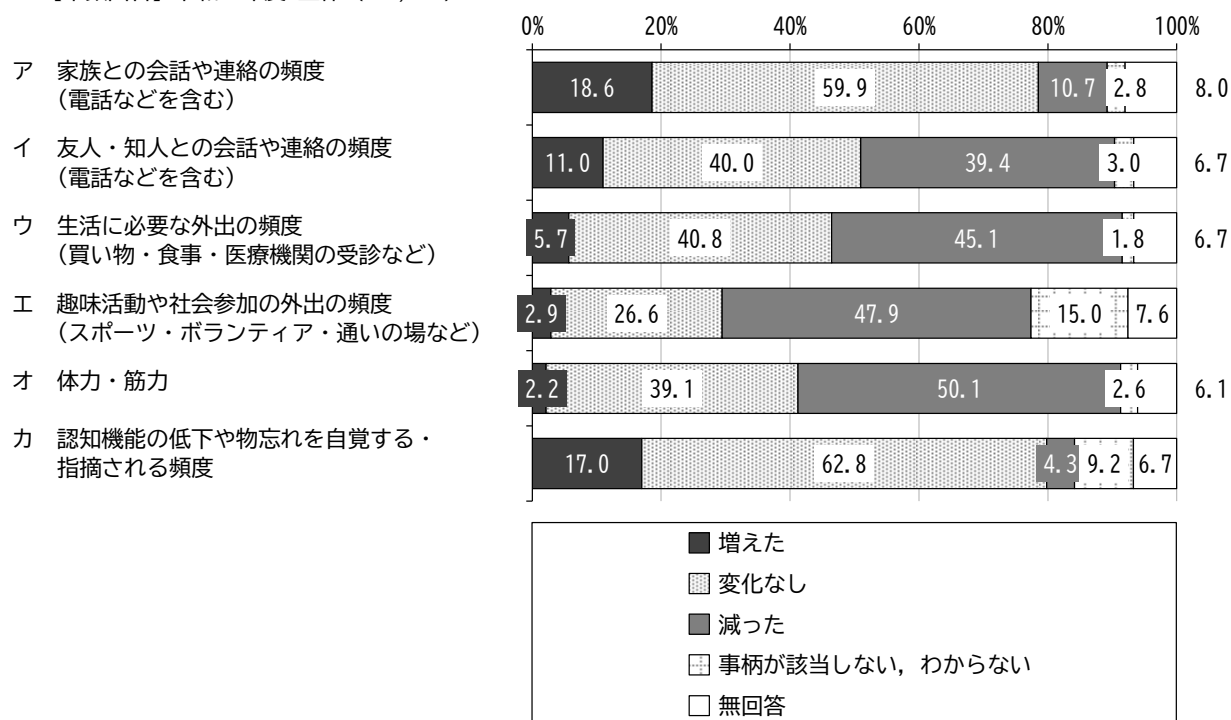


問 26 新型コロナウイルス感染症の流行後、現在のあなたの暮らしにどのような影響がありますか。(それぞれ1つに○)

- 新型コロナウイルス感染症の流行後の暮らしへの影響について、「増えた」の割合は、[カ 認知機能の低下や物忘れを自覚する・指摘される頻度 (15.0%)] が最も多く、[ア 家族との会話や連絡の頻度 (電話などを含む) (10.3%)], [イ 友人・知人との会話や連絡の頻度 (電話などを含む) (7.1%)] が続いている。
- 一方、「減った」の割合は、[オ 体力・筋力 (40.8%)], [エ 趣味活動や社会参加の外出の頻度 (スポーツ・ボランティア・通いの場など) (20.9%)], [イ 友人・知人との会話や連絡の頻度 (電話などを含む) (19.1%)] が続いている。
- 令和4年度の調査結果と比較すると、「増えた」の割合は、[家族との会話や連絡の頻度 (電話などを含む)] で 8.3 ポイント低くなっている。また、「減った」の割合は、[生活に必要な外出の頻度 (買い物・食事・医療機関の受診など)] で 28.2 ポイント、[趣味活動や社会参加の外出の頻度 (スポーツ・ボランティア・通いの場など)] で 27.0 ポイント、[友人・知人との会話や連絡の頻度 (電話などを含む)] で 20.3 ポイント、[体力・筋力] で 9.3 ポイント低くなっている。



【単数回答】令和4年度 全体 (N=1,203)

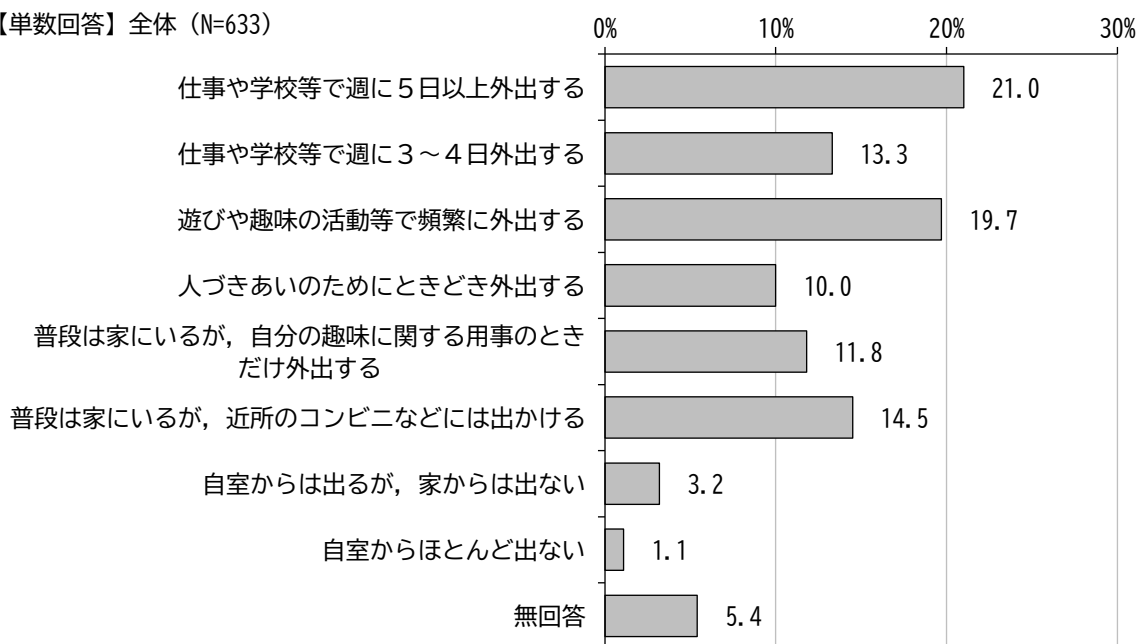


※令和4年度調査は今回調査と項目数が異なるため、記号を省略している。

問 27 あなたは普段、どのくらい外出しますか。現在のことについてお答えください。
(1つに○)

○ 外出の状況は、「仕事や学校等で週に5日以上外出する (21.0%)」が最も多く、「遊びや趣味の活動等で頻繁に外出する (19.7%)」、「普段は家にいるが、近所のコンビニなどには出かける (14.5%)」が続いている。

【単数回答】全体 (N=633)



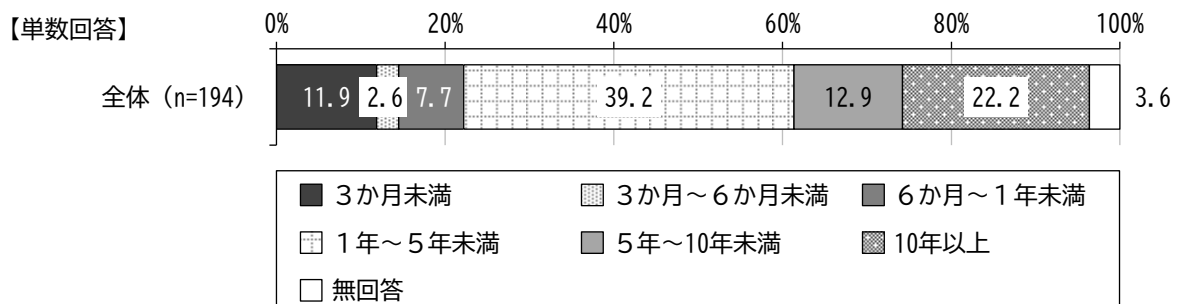
－ 回答者属性分析 －

- 外出状況の結果の割合を年代別にみると、65～69 歳，70～74 歳で「仕事や学校等で週に5日以上外出する」，75～79 歳で「遊びや趣味の活動等で頻繁に外出する」，85 歳以上で「普段は家にいるが，近所のコンビニなどには出かける」が最も多く，80～84 歳で「遊びや趣味の活動等で頻繁に外出する」と「普段は家にいるが，近所のコンビニなどには出かける」が同率となっている。
- 職業別にみると，正規の社員・職員・役員，非正規の社員・職員，自由業・自営業で「仕事や学校等で週に5日以上外出する」，無職（仕事はしていない）で「遊びや趣味の活動等で頻繁に外出する」が最も多くなっている。

単位：％		仕事や学校等で週に5日以上外出する	仕事や学校等で週に3～4日外出する	遊びや趣味の活動等で頻繁に外出する	人づきあいのためにときどき外出する	普段は家に関する用事のときだけ外出する	普段は家にいるが、近所のコンビニなどには出かける	自室からは出るが、家からは出ない	自室からほとんど出ない	無回答
全体（N=633）		21.0	13.3	19.7	10.0	11.8	14.5	3.2	1.1	5.4
年代別	65～69歳（n=135）	43.7	24.4	17.8	4.4	4.4	3.0	0.0	0.0	2.2
	70～74歳（n=112）	27.7	22.3	14.3	12.5	9.8	8.9	0.0	1.8	2.7
	75～79歳（n=148）	16.2	10.1	27.0	10.1	12.8	15.5	0.7	0.7	6.8
	80～84歳（n=105）	11.4	6.7	21.0	15.2	17.1	21.0	1.9	0.0	5.7
	85歳以上（n=113）	1.8	1.8	18.6	8.8	16.8	24.8	14.2	3.5	9.7
職業別	正規の社員・職員・役員（n=47）	66.0	17.0	4.3	2.1	2.1	6.4	0.0	0.0	2.1
	非正規の社員・職員（n=106）	48.1	46.2	2.8	1.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.9
	自由業・自営業（n=50）	46.0	18.0	12.0	2.0	4.0	12.0	2.0	0.0	4.0
	シルバー人材センターの会員（n=9）	11.1	55.6	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	有償ボランティア（n=9）	11.1	22.2	44.4	11.1	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0
	仕事はしていない（n=366）	4.6	2.7	27.6	14.2	17.5	20.2	4.9	1.9	6.3

付問1 問27で「5～8（外出頻度が低い）」のいずれかに答えた方にうかがいます。
あなたの外出状況が現在の状態となって，どのくらい経ちますか。（1つに○）

- 外出状況が現在の状態となって，どのくらい経つかは，「1年～5年未満（39.2%）」が最も多く，「10年以上（22.2%）」が続いている。

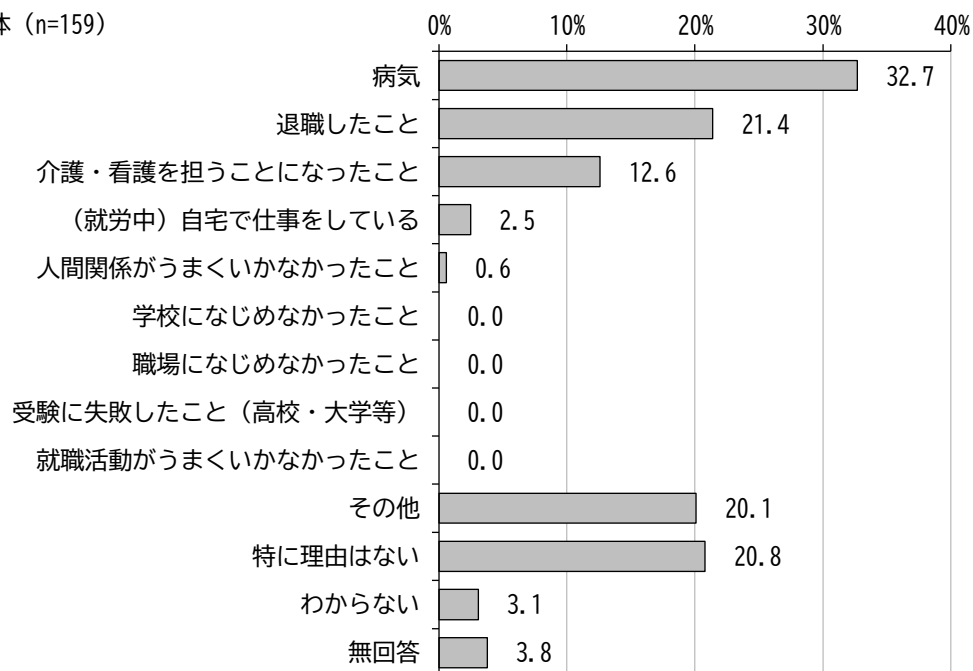


付問2 付問1で「3～6（外出状況が現在の状態となって6か月以上）」のいずれかに答えた方にうかがいます。

あなたの外出状況が現在の状態になった主な理由は何ですか。（いくつでも○）

- 外出状況が現在の状態になった主な理由は、「病気（32.7%）」が最も多く、「退職したこと（21.4%）」、「特に理由はない（20.8%）」が続いている。

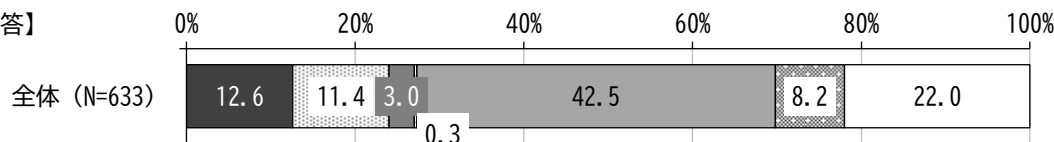
【複数回答】全体（n=159）



問28 あなた以外で、市内にお住まいのご家族（同居・別居問わず）に下記の外出状況が当てはまる人はいますか。（1つに○）

- 市内に住む家族の外出状況は、「いずれもいない（42.5%）」が最も多く、「普段は家にいるが、自分の趣味に関する用事のときだけ外出する（12.6%）」、「普段は家にいるが、近所のコンビニなどには出かける（11.4%）」が続いている。

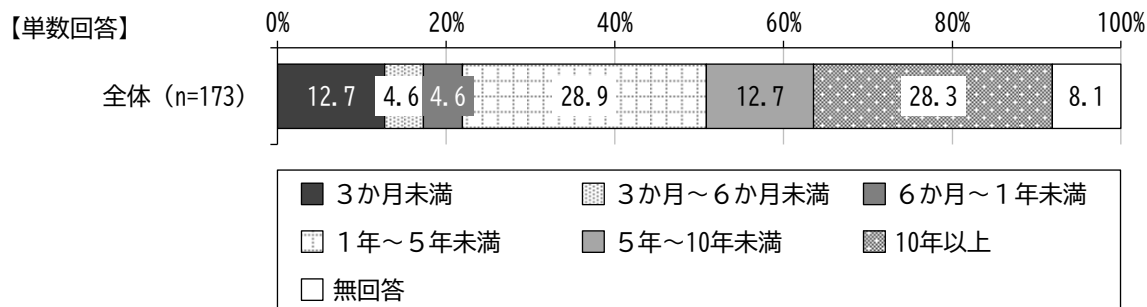
【単数回答】



- 普段は家にいるが、自分の趣味に関する用事のときだけ外出する
- ▨ 普段は家にいるが、近所のコンビニなどには出かける
- 自室からは出るが、家からは出ない
- ▨ 自室からほとんど出ない
- いずれもいない
- ▨ 外出状況がわからない
- 無回答

付問1 問28で「1～4（外出頻度が低い）」のいずれかに答えた方にうかがいます。
ご家族の外出状況が現在の状態となって、どのくらい経ちますか。（1つに○）

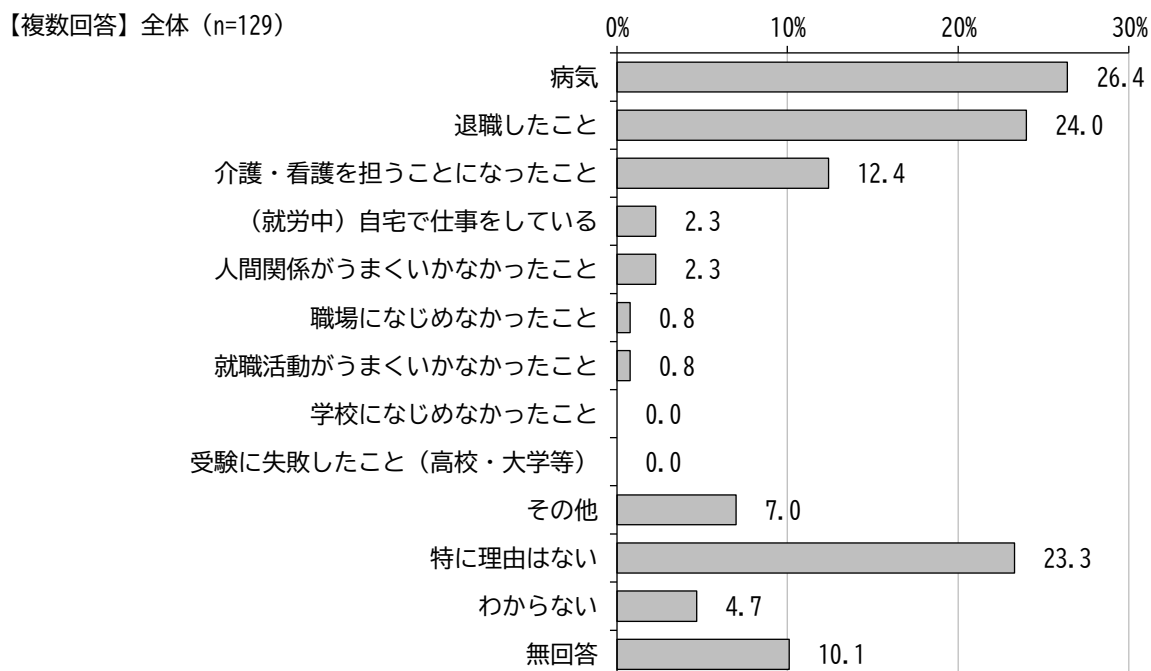
- 家族の外出状況が現在の状態となって、どのくらい経つかは、「1年～5年未満（28.9%）」が最も多く、「10年以上（28.3%）」、「3か月未満（12.7%）」、「5年～10年未満（12.7%）」が続いている。



付問2 付問1で「3～6（外出状況が現在の状態となって6か月以上）」のいずれかに答えた方にうかがいます。

ご家族の外出状況が現在の状態になった主な理由は何ですか。（いくつでも○）

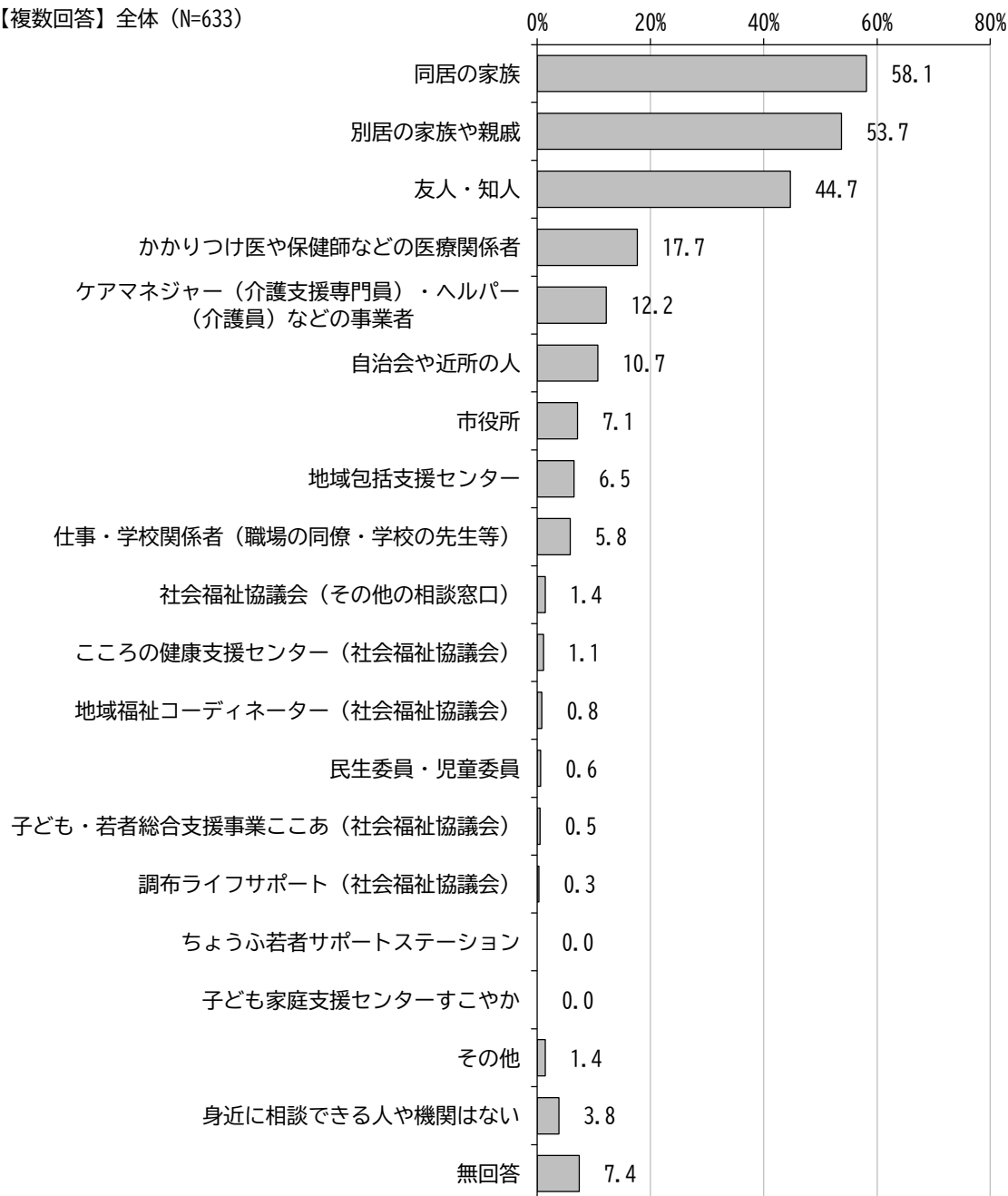
- 家族の外出状況が現在の状態になった主な理由は、「病気（26.4%）」が最も多く、「退職したこと（24.0%）」、「特に理由はない（23.3%）」が続いている。



問 29 日常生活での困りごとを相談できる人や機関はありますか。(いくつでも○)

- 日常生活での困りごとを相談できる人や機関は、「同居の家族 (58.1%)」が最も多く、「別居の家族や親戚 (53.7%)」, 「友人・知人 (44.7%)」が続いている。

【複数回答】全体 (N=633)



－ 回答者属性分析 －

- 日常生活での困りごとを相談できる人や機関の割合を年代別にみると、65～74 歳、85 歳以上で「同居の家族」、75～84 歳で「別居の家族や親戚」が最も多くなっている。また、85 歳以上で「ケアマネジャー（介護支援専門員）・ヘルパー（介護員）などの事業者」が2割を超えている。
- 性・年代別にみると、男性はすべての年代で「同居の家族」、女性はそのすべての年代で「別居の家族や親戚」が最も多くなっている。また、女性：85 歳以上で「ケアマネジャー（介護支援専門員）・ヘルパー（介護員）などの事業者」が3割を超えており、男性：85 歳以上の1割台に比べて多くなっている。

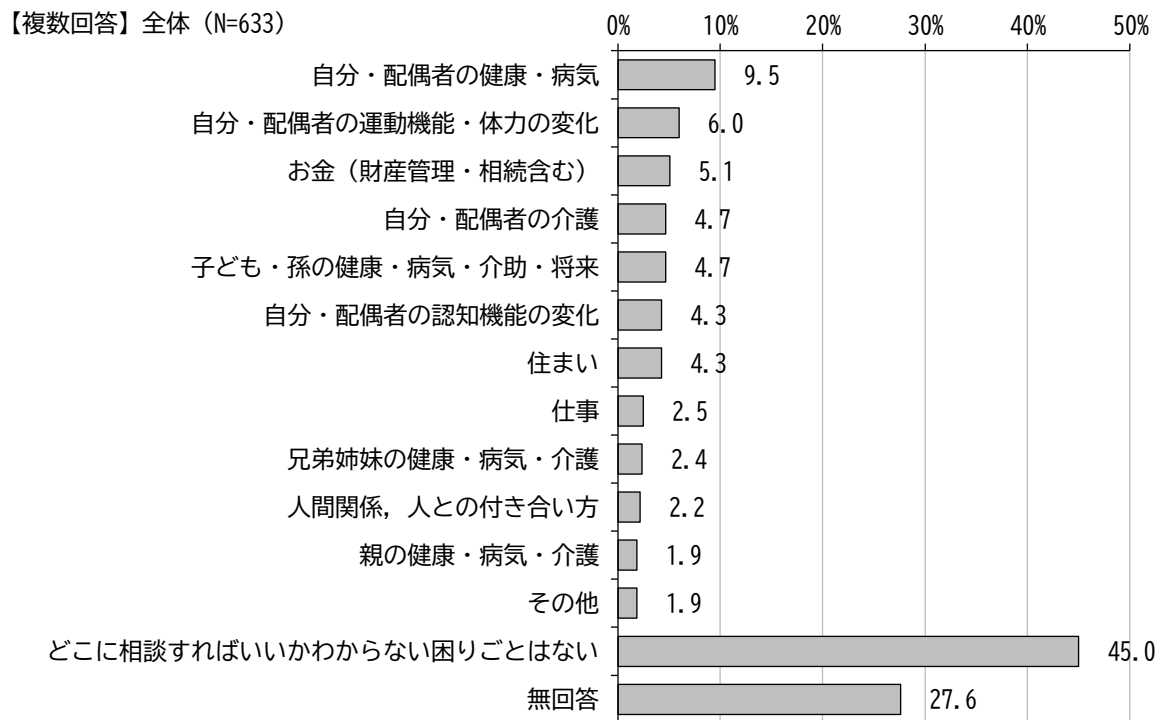
- 福祉圏域別にみると、若葉・調和小学校地域、第三・石原・飛田給小学校地域で「別居の家族や親戚」、それ以外の地域で「同居の家族」が最も多くなっている。

単位：％		同居の家族	別居の家族や親戚	自治会や近所の人	友人・知人	仕事・学校関係者（職場の同僚・学校の先生等）	民生委員・児童委員	ケアマネジャー（介護支援専門員）・ヘルパー（介護員）などの事業者	かかりつけ医や保健師などの医療関係者	市役所	地域福祉コーディネーター（社会福祉協議会）
全体（N=633）		58.1	53.7	10.7	44.7	5.8	0.6	12.2	17.7	7.1	0.8
年代別	65～74歳（n=247）	65.2	53.4	8.9	52.6	10.9	0.4	5.7	15.8	7.7	1.2
	75～84歳（n=253）	55.3	56.1	13.0	45.5	3.6	0.8	11.5	19.0	7.1	0.8
	85歳以上（n=113）	49.6	48.7	9.7	26.5	0.0	0.9	28.3	19.5	3.5	0.0
性・年代別	男性：65～74歳（n=126）	69.0	44.4	7.9	43.7	11.1	0.8	2.4	19.0	10.3	1.6
	男性：75～84歳（n=93）	65.6	45.2	14.0	43.0	6.5	1.1	8.6	22.6	11.8	0.0
	男性：85歳以上（n=34）	52.9	44.1	11.8	23.5	0.0	2.9	17.6	17.6	2.9	0.0
	女性：65～74歳（n=120）	61.7	62.5	10.0	61.7	10.8	0.0	9.2	12.5	5.0	0.8
	女性：75～84歳（n=158）	49.4	63.3	12.7	46.2	1.9	0.6	13.3	16.5	4.4	1.3
	女性：85歳以上（n=78）	48.7	51.3	9.0	28.2	0.0	0.0	33.3	20.5	3.8	0.0
福祉圏域別	緑ヶ丘・滝坂（n=72）	62.5	52.8	9.7	47.2	5.6	0.0	9.7	12.5	6.9	0.0
	若葉・調和（n=58）	56.9	63.8	13.8	51.7	3.4	1.7	13.8	19.0	10.3	1.7
	上ノ原・柏野（n=66）	66.7	56.1	6.1	39.4	3.0	0.0	9.1	16.7	3.0	0.0
	北ノ台・深大寺（n=66）	57.6	54.5	10.6	47.0	6.1	1.5	6.1	12.1	4.5	0.0
	第二・八雲台・国領（n=102）	57.8	52.0	12.7	46.1	5.9	0.0	14.7	25.5	9.8	0.0
	染地・杉森・布田（n=79）	54.4	43.0	10.1	53.2	7.6	0.0	11.4	20.3	6.3	3.8
	第一・富士見台・多摩川（n=71）	50.7	47.9	2.8	36.6	4.2	0.0	7.0	11.3	8.5	0.0
	第三・石原・飛田給（n=94）	62.8	63.8	17.0	41.5	9.6	2.1	22.3	21.3	3.2	1.1

単位：％		福祉調布ライフサポート（社会福祉協議会）	子ども・若者総合支援事業（社会福祉協議会）	こころの健康支援センター（社会福祉協議会）	社会福祉協議会（その他の相談窓口）	地域包括支援センター	ちようふ若者サポートステーション	子ども家庭支援センターすこやか	その他	身近に相談できる人や機関	無回答
全体（N=633）		0.3	0.5	1.1	1.4	6.5	0.0	0.0	1.4	3.8	7.4
年代別	65～74歳（n=247）	0.0	0.8	0.8	1.6	4.9	0.0	0.0	1.2	4.5	4.0
	75～84歳（n=253）	0.8	0.0	1.6	1.6	5.9	0.0	0.0	1.2	3.6	6.7
	85歳以上（n=113）	0.0	0.9	0.9	0.9	9.7	0.0	0.0	2.7	3.5	15.0
性・年代別	男性：65～74歳（n=126）	0.0	0.8	0.8	2.4	5.6	0.0	0.0	1.6	7.1	4.0
	男性：75～84歳（n=93）	1.1	0.0	2.2	2.2	6.5	0.0	0.0	1.1	6.5	3.2
	男性：85歳以上（n=34）	0.0	0.0	0.0	2.9	11.8	0.0	0.0	5.9	2.9	17.6
	女性：65～74歳（n=120）	0.0	0.8	0.8	0.8	4.2	0.0	0.0	0.8	1.7	4.2
	女性：75～84歳（n=158）	0.6	0.0	1.3	1.3	5.7	0.0	0.0	1.3	1.9	8.9
	女性：85歳以上（n=78）	0.0	1.3	1.3	0.0	9.0	0.0	0.0	1.3	3.8	12.8
福祉圏域別	緑ヶ丘・滝坂（n=72）	0.0	0.0	1.4	0.0	5.6	0.0	0.0	1.4	4.2	4.2
	若葉・調和（n=58）	0.0	1.7	3.4	1.7	5.2	0.0	0.0	1.7	6.9	3.4
	上ノ原・柏野（n=66）	1.5	0.0	1.5	1.5	6.1	0.0	0.0	1.5	3.0	7.6
	北ノ台・深大寺（n=66）	0.0	0.0	0.0	1.5	4.5	0.0	0.0	0.0	3.0	12.1
	第二・八雲台・国領（n=102）	0.0	0.0	0.0	3.9	9.8	0.0	0.0	1.0	4.9	5.9
	染地・杉森・布田（n=79）	0.0	0.0	2.5	0.0	6.3	0.0	0.0	0.0	5.1	8.9
	第一・富士見台・多摩川（n=71）	0.0	1.4	0.0	1.4	5.6	0.0	0.0	4.2	2.8	9.9
	第三・石原・飛田給（n=94）	1.1	1.1	1.1	1.1	6.4	0.0	0.0	2.1	2.1	3.2

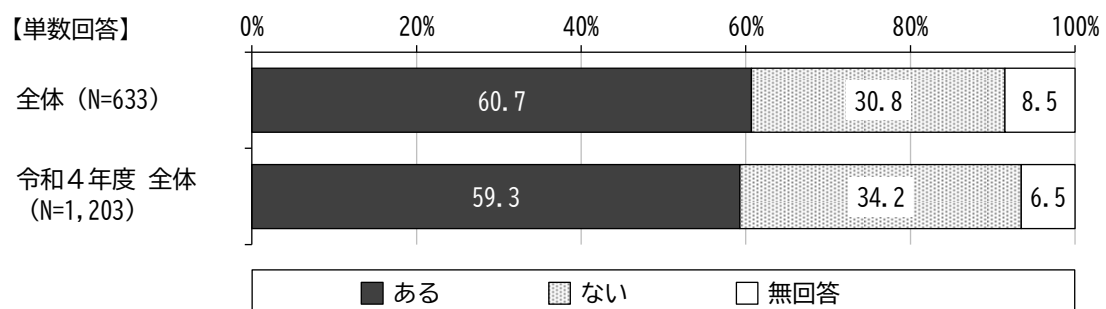
問 30 現在、あなた自身やご家族は、どこに相談すればいいかわからない生活上の困りごとを抱えていますか。差し支えなければ、お困りの内容をお聞かせください。
(いくつでも○)

- 相談先がわからない生活上の困りごとは、「どこに相談すればいいかわからない困りごとはない (45.0%)」が最も多く、「自分・配偶者の健康・病気 (9.5%)」、「自分・配偶者の運動機能・体力の変化 (6.0%)」が続いている。



問 31 自宅以外にひとりで、あるいは友人・知人と過ごす場所がありますか。(1つに○)

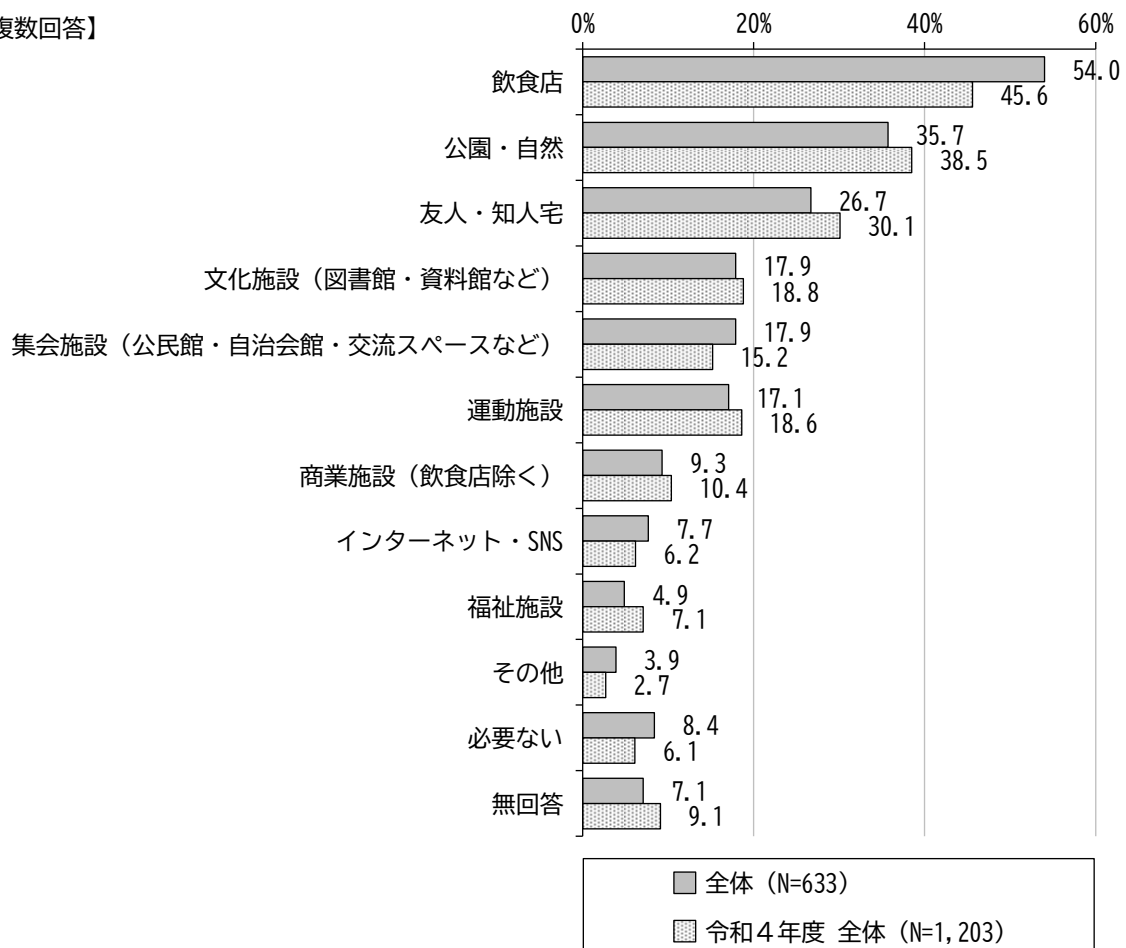
- 自宅以外にひとりで、あるいは友人・知人と過ごす場所の有無は、「ある (60.7%)」、「ない (30.8%)」である。
- 令和4年度の調査結果と比較すると、大きな変化はみられない。



問 32 自宅以外にひとりで、あるいは友人・知人と過ごす場合、どのような場所を望みますか。(いくつでも○)

- 自宅以外にひとりで、あるいは友人・知人と過ごしたい場所は、「飲食店 (54.0%)」が最も多く、「公園・自然 (35.7%)」、「友人・知人宅 (26.7%)」が続いている。
- 令和4年度の調査結果と比較すると、「飲食店」が8.4ポイント高くなっている。

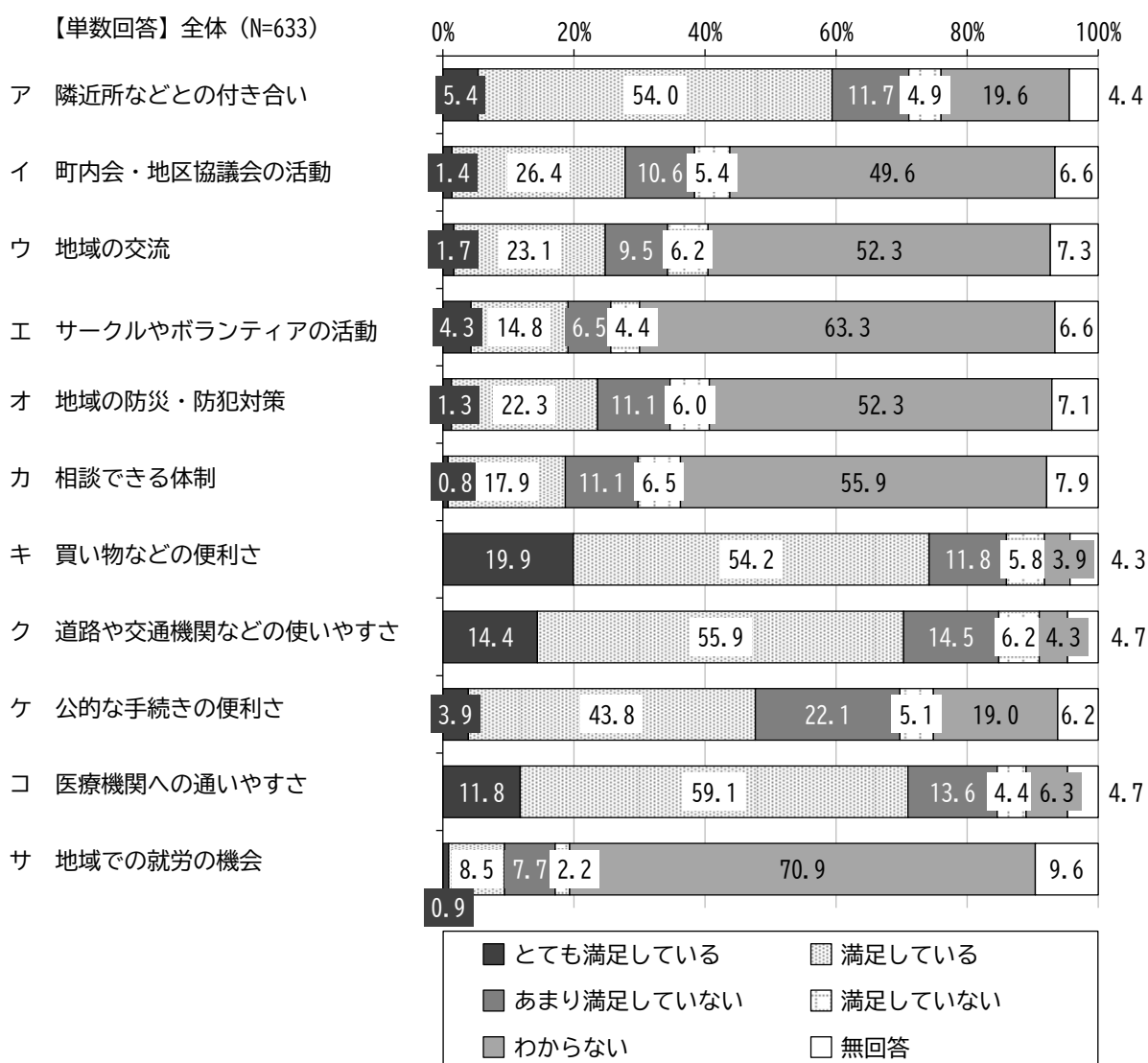
【複数回答】



7 誰もが暮らしやすいまちづくりについておたずねします

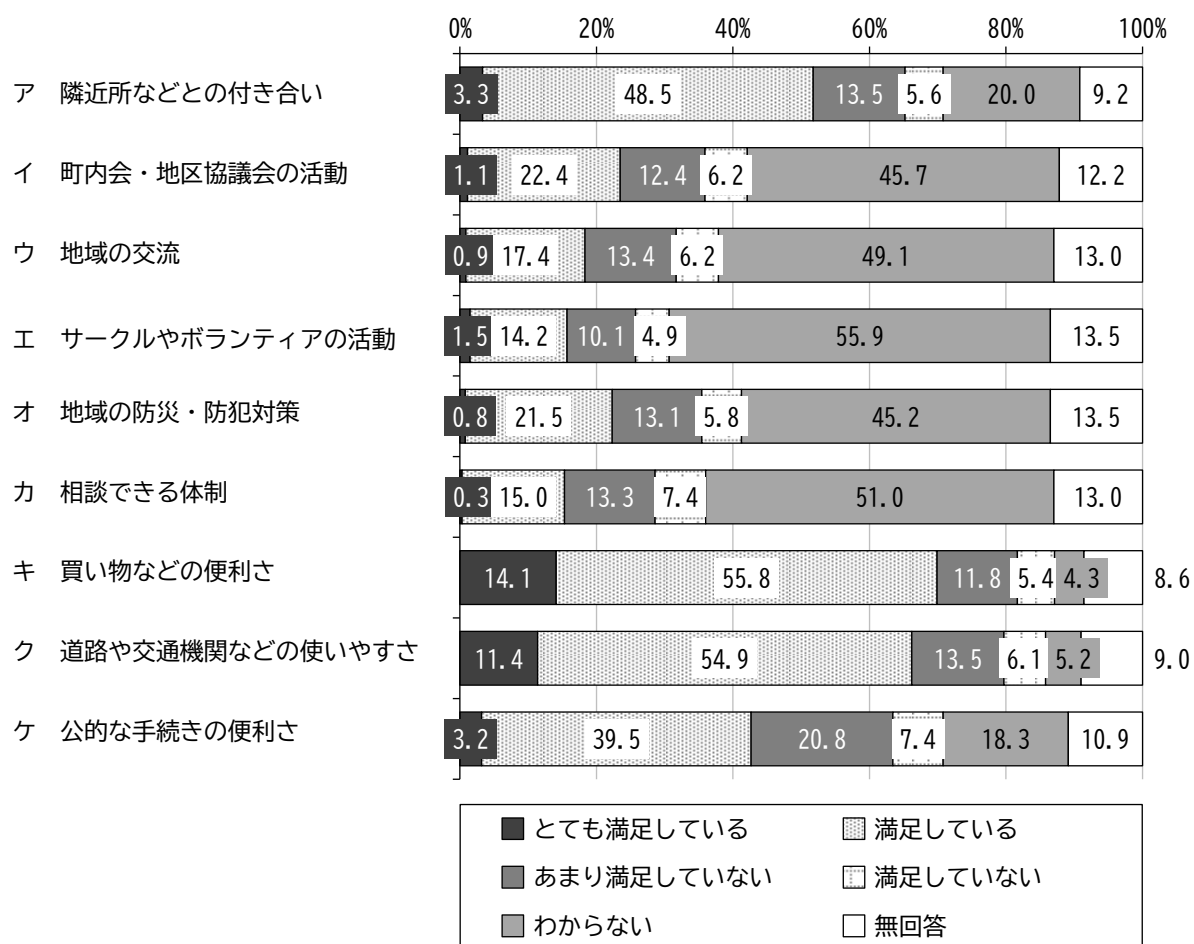
問 33 お住まいの地域の暮らしやすさについて、どのように感じていますか。
(それぞれ1つに○)

- 地域の暮らしやすさの状況について、「とても満足している」と「満足している」を合わせた『満足している』の割合は、[キ 買い物などの便利さ (74.1%)] が最も多く、[コ 医療機関への通いやすさ (70.9%)], [ク 道路や交通機関などの使いやすさ (70.3%)] が続いている。
- 令和4年度の調査結果と比較すると、『満足している』の割合は、[ア 隣近所などとの付き合い] で7.6ポイント、[ウ 地域の交流] で6.5ポイント高くなっている。



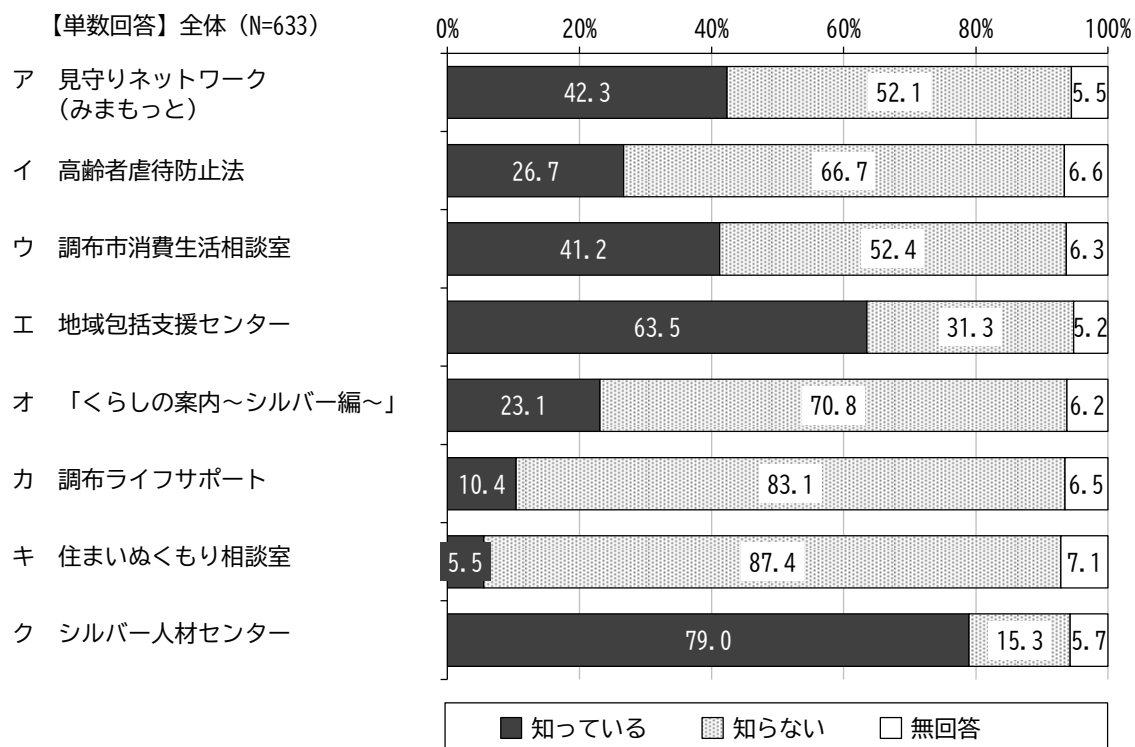
※ [コ 医療機関への通いやすさ], [サ 地域での就労の機会] は今回調査のみの項目

【単数回答】令和4年度 全体 (N=1,203)

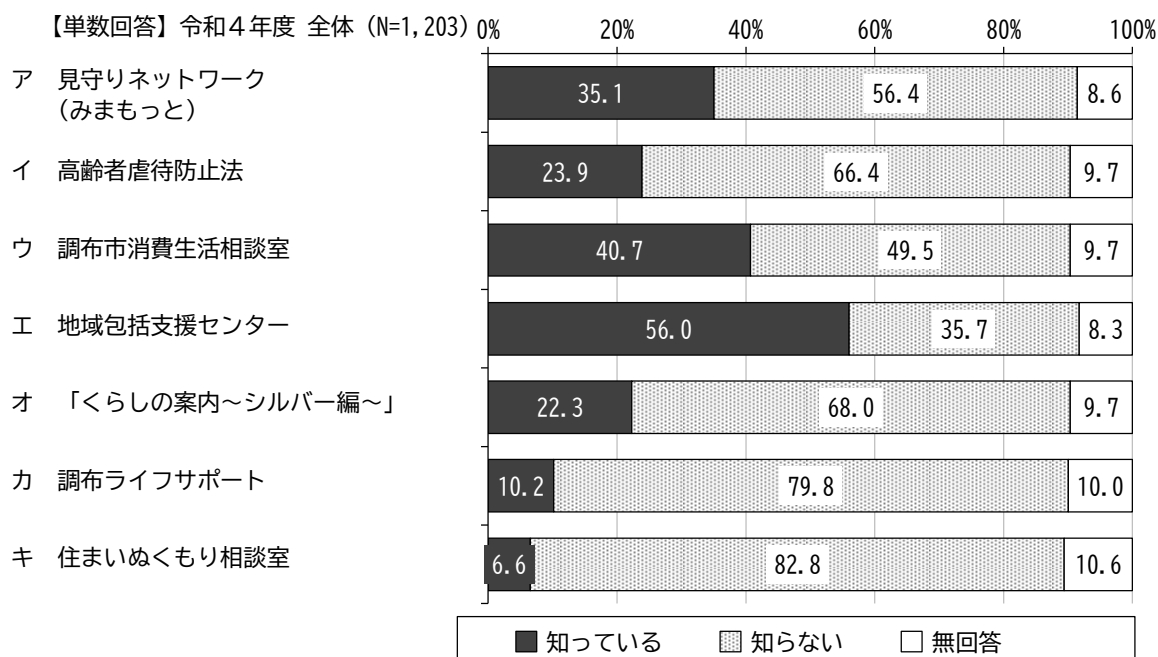


問 34 高齢者の生活を守る取組や相談窓口などがあります。下記のことをご存知ですか。
(それぞれ1つに○)

- 高齢者の生活を守る取組や相談窓口などの認知状況について、「知っている」の割合は、
[ク シルバー人材センター (79.0%)] が最も多く、[エ 地域包括支援センター (63.5%)], [ア 見守りネットワーク (みまもっと) (42.3%)] が続いている。
- 令和4年度の調査結果と比較すると、「知っている」の割合は、[ア 見守りネットワーク (みまもっと)] が7.2ポイント、[エ 地域包括支援センター] が7.5ポイント、それぞれ高くなっている。



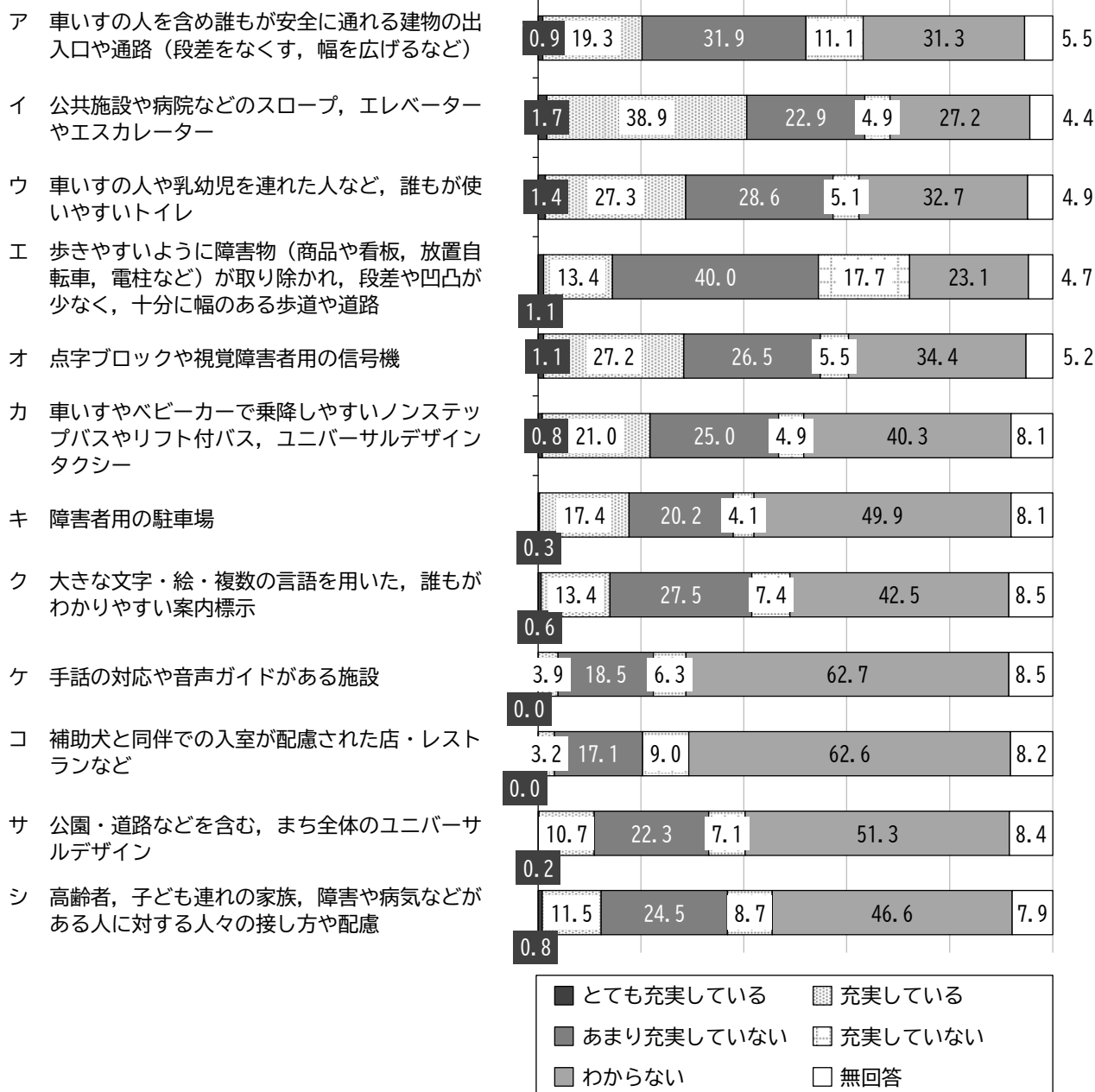
※ [ク シルバー人材センター] は今回調査のみの項目



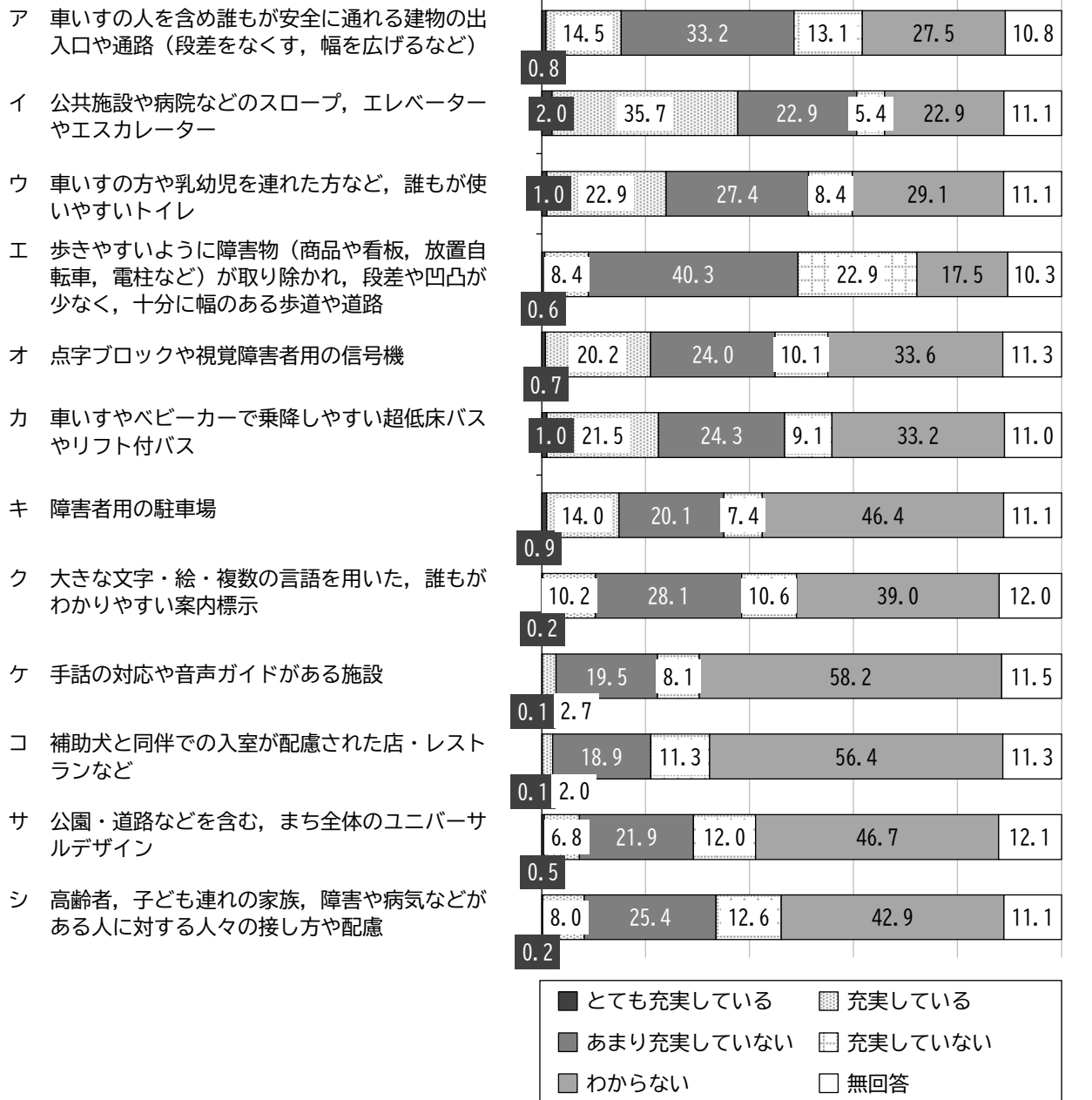
問 35 市内のバリアフリー・ユニバーサルデザインについて、どのように感じていますか。
(それぞれ1つに○)

- 市内のバリアフリー・ユニバーサルデザインの状況について、「とても充実している」と「充実している」を合わせた『充実している』の割合は、[イ 公共施設や病院などのスロープ，エレベーターやエスカレーター（40.6%）]が最も多く，[ウ 車いすの人や乳幼児を連れた人など，誰もが使いやすいトイレ（28.7%）]，[オ 点字ブロックや視覚障害者用の信号機（28.3%）]が続いている。
- 一方，「あまり充実していない」と「充実していない」を合わせた『充実していない』の割合は，[エ 歩きやすいように障害物（商品や看板，放置自転車，電柱など）が取り除かれ，段差や凹凸が少なく，十分に幅のある歩道や道路（57.7%）]が最も多く，[ア 車いすの人を含め誰もが安全に通れる建物の出入口や通路（段差をなくす，幅を広げるなど）（43.0%）]，[ク 大きな文字・絵・複数の言語を用いた，誰もがわかりやすい案内標示（34.9%）]が続いている。
- 令和4年度の調査結果と比較すると，『充実している』の割合は，[オ 点字ブロックや視覚障害者用の信号機]で7.4ポイント，[エ 歩きやすいように障害物（商品や看板，放置自転車，電柱など）が取り除かれ，段差や凹凸が少なく，十分に幅のある歩道や道路]で5.5ポイント高くなっている。

【単数回答】全体 (N=633)

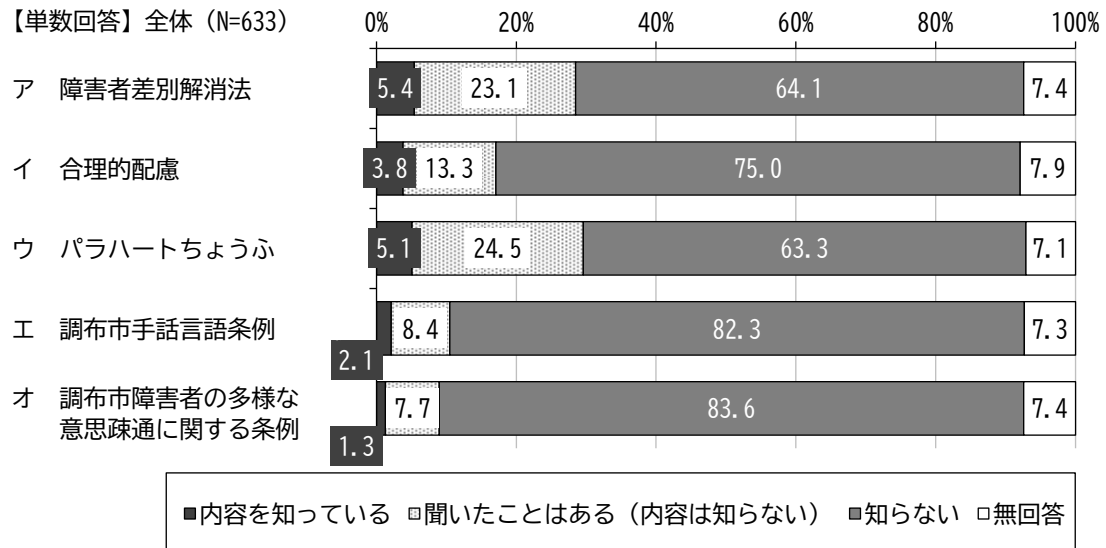


【単数回答】令和4年度 全体 (N=1,203)



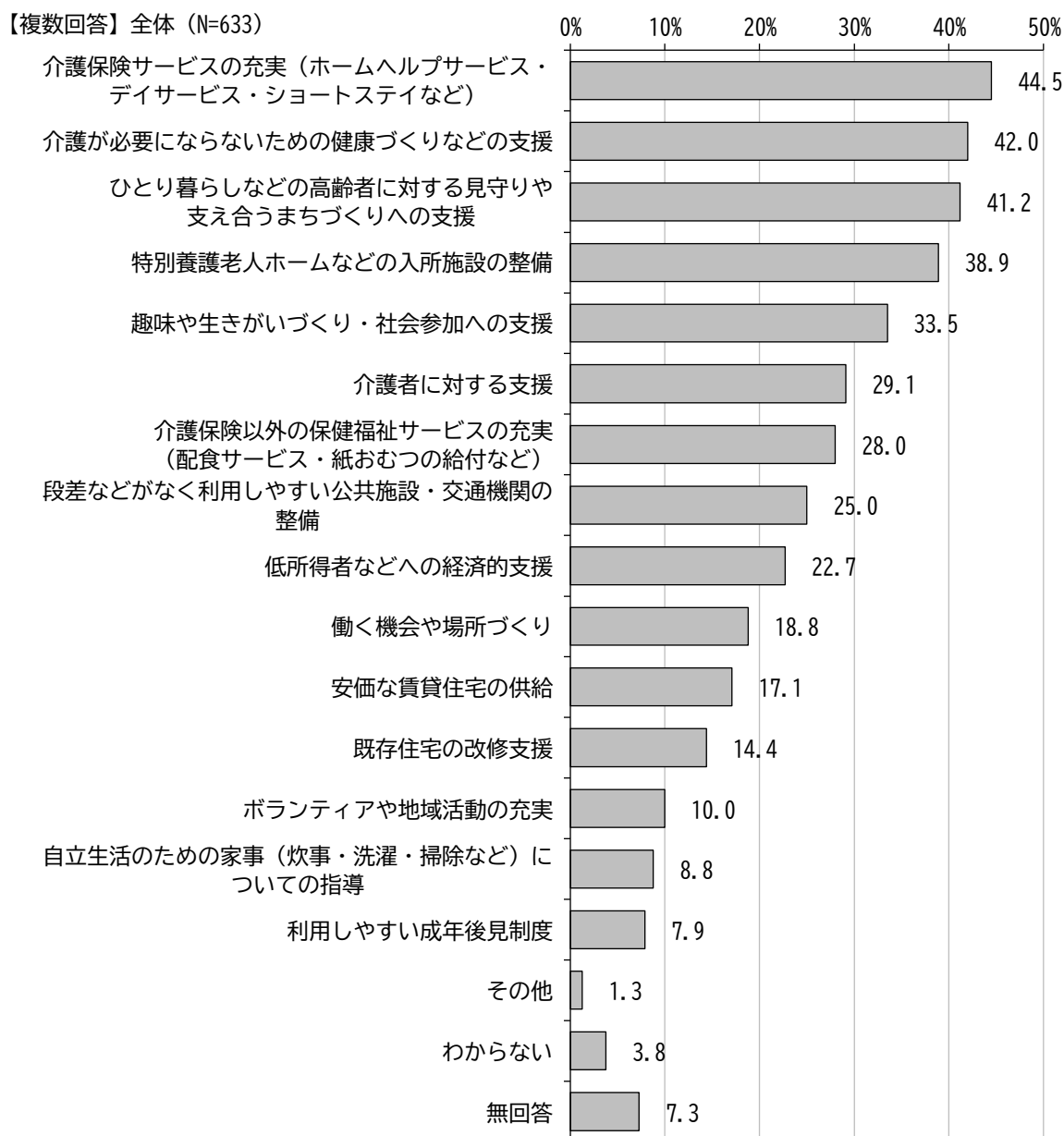
問 36 共生社会の充実のための法律や考え方，調布市が令和6年度に制定した2つの条例を知っていますか。（それぞれ1つに○）

- 共生社会の充実のための法律や考え方について、「内容を知っている」の割合は，[ア 障害者差別解消法（5.4%）] が最も多く，[ウ パラハートちょうふ（5.1%）] が続いている。市が令和6年度に制定した2つの条例について，「内容を知っている」の割合は，[エ 調布市手話言語条例（2.1%）]，[オ 調布市障害者の多様な意思疎通に関する条例（1.3%）] が続いている。



問 37 調布市の高齢者保健福祉施策（サービス）をより充実していくために、特に重要と考える取組は何ですか。（5つまで○）

- 市の高齢者保健福祉施策（サービス）の充実のために重要な取組は、「介護保険サービスの充実（ホームヘルプサービス・デイサービス・ショートステイなど）（44.5%）」が最も多く、「介護が必要にならないための健康づくりなどの支援（42.0%）」、「ひとり暮らしなどの高齢者に対する見守りや支え合うまちづくりへの支援（41.2%）」が続いている。



－ 回答者属性分析 －

- 市の高齢者保健福祉施策（サービス）の充実のために重要な取組の割合を性・年代別にみると、男性は、65～74 歳で「働く機会や場所づくり」、85 歳以上で「介護が必要にならないための健康づくりなどの支援」が最も多く、75～84 歳で「介護が必要にならないための健康づくりなどの支援」と「介護保険サービスの充実（ホームヘルプサービス・デイサービス・ショートステイなど）」が同率となっている。女性は、65～74 歳で「ひとり暮らしなどの高齢者に対する見守りや支え合うまちづくりへの支援」、75～84 歳で「介護が必要にならないための健康づくりなどの支援」、85 歳以上で「介護保険サービスの充実（ホームヘルプサービス・デイサービス・ショートステイなど）」が最も多くなっている。
- 福祉圏域別にみると、緑ヶ丘・滝坂小学校地域、北ノ台・深大寺小学校地域で「介護が必要にならないための健康づくりなどの支援」が最も多く、若葉・調和小学校地域で「趣味や生きがいづくり・社会参加への支援」と「介護が必要にならないための健康づくりなどの支援」、第一・富士見台・多摩川小学校地域で「介護保険サービスの充実（ホームヘルプサービス・デイサービス・ショートステイなど）」と「ひとり暮らしなどの高齢者に対する見守りや支え合うまちづくりへの支援」、第三・石原・飛田給小学校地域で「ひとり暮らしなどの高齢者に対する見守りや支え合うまちづくりへの支援」と「特別養護老人ホームなどの入所施設の整備」が同率となっている。それ以外の地域で「介護保険サービスの充実（ホームヘルプサービス・デイサービス・ショートステイなど）」が最も多くなっている。

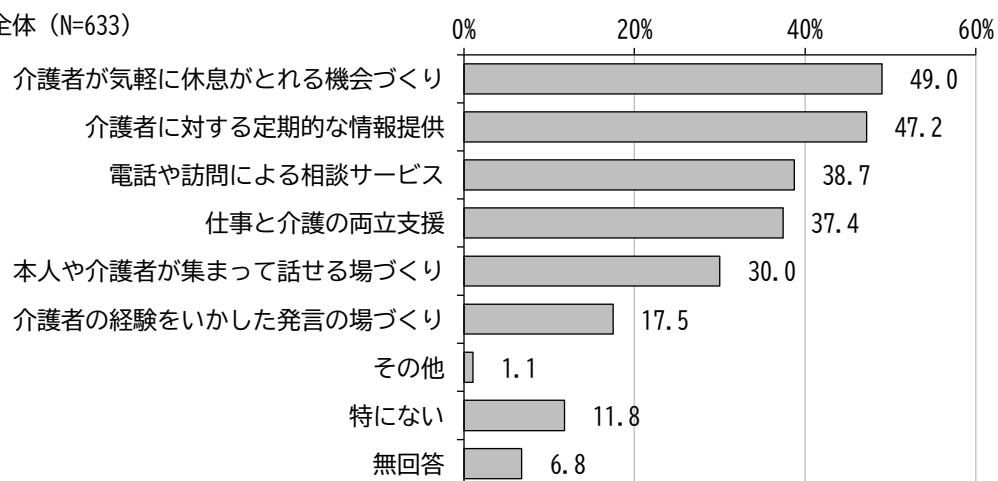
単位：％		趣味や生きがいづくり・社会参加への支援	働く機会や場所づくり	介護が必要にならないための健康づくりなどの支援	導	洗濯・掃除などの家事（炊事・指	自立生活のための家事（炊事・指	ス・シヨートサービス・デイサービス・ヘルプサービス・ホー	介護保険サービスの充実（ホー	むつの給付など）	介護保険以外の保健福祉サービス（配食サービス・紙お	ボランティアや地域活動の充実	する見守りや支え合うまちづく	ひとり暮らしなどの高齢者に対	低所得者などへの経済的支援
全体（N=633）		33.5	18.8	42.0	8.8	44.5	28.0	10.0	41.2	22.7					
性・年代別	男性：65～74歳（n=126）	38.9	39.7	37.3	11.9	37.3	27.8	14.3	31.0	27.0					
	男性：75～84歳（n=93）	36.6	15.1	44.1	14.0	44.1	22.6	7.5	40.9	24.7					
	男性：85歳以上（n=34）	35.3	2.9	50.0	2.9	44.1	38.2	5.9	38.2	23.5					
	女性：65～74歳（n=120）	38.3	25.8	39.2	10.0	49.2	30.8	7.5	51.7	15.8					
	女性：75～84歳（n=158）	30.4	9.5	47.5	5.7	46.8	29.1	9.5	44.9	22.2					
	女性：85歳以上（n=78）	21.8	5.1	41.0	6.4	46.2	23.1	12.8	38.5	25.6					
福祉圏域別	緑ヶ丘・滝坂（n=72）	29.2	19.4	43.1	18.1	40.3	22.2	4.2	38.9	15.3					
	若葉・調和（n=58）	41.4	20.7	41.4	8.6	39.7	27.6	12.1	39.7	22.4					
	上ノ原・柏野（n=66）	30.3	21.2	37.9	9.1	43.9	31.8	6.1	37.9	18.2					
	北ノ台・深大寺（n=66）	48.5	18.2	50.0	4.5	47.0	19.7	13.6	40.9	27.3					
	第二・八雲台・国領（n=102）	26.5	18.6	41.2	11.8	51.0	34.3	8.8	40.2	28.4					
	染地・杉森・布田（n=79）	29.1	17.7	44.3	6.3	45.6	30.4	13.9	40.5	24.1					
	第一・富士見台・多摩川（n=71）	38.0	22.5	40.8	8.5	42.3	26.8	11.3	42.3	25.4					
	第三・石原・飛田給（n=94）	33.0	14.9	43.6	5.3	44.7	27.7	12.8	47.9	18.1					

単位：％		既存住宅の改修支援	安価な賃貸住宅の供給	機や段の差など公共施設・利用通し	ど特別入養所施設老人ホームな	制利用しやすい成年後見	介護者に対する支援	その他	わからない	無回答
全体（N=633）		14.4	17.1	25.0	38.9	7.9	29.1	1.3	3.8	7.3
性・年代別	男性：65～74歳（n=126）	15.1	20.6	21.4	33.3	7.1	26.2	0.8	4.8	4.8
	男性：75～84歳（n=93）	17.2	20.4	24.7	35.5	6.5	25.8	1.1	2.2	8.6
	男性：85歳以上（n=34）	5.9	14.7	29.4	38.2	8.8	23.5	0.0	11.8	2.9
	女性：65～74歳（n=120）	12.5	15.0	20.0	48.3	6.7	35.8	0.8	1.7	4.2
	女性：75～84歳（n=158）	17.1	17.1	34.2	38.0	12.0	29.1	2.5	1.9	8.9
	女性：85歳以上（n=78）	12.8	11.5	19.2	42.3	5.1	26.9	1.3	7.7	10.3
福祉圏域別	緑ヶ丘・滝坂（n=72）	8.3	16.7	19.4	38.9	12.5	31.9	1.4	1.4	9.7
	若葉・調和（n=58）	17.2	27.6	19.0	37.9	0.0	25.9	0.0	1.7	3.4
	上ノ原・柏野（n=66）	18.2	7.6	27.3	40.9	6.1	36.4	3.0	3.0	6.1
	北ノ台・深大寺（n=66）	21.2	15.2	27.3	34.8	7.6	25.8	0.0	1.5	3.0
	第二・八雲台・国領（n=102）	15.7	21.6	29.4	37.3	5.9	26.5	2.0	2.9	7.8
	染地・杉森・布田（n=79）	13.9	22.8	21.5	38.0	7.6	31.6	1.3	10.1	6.3
	第一・富士見台・多摩川（n=71）	8.5	14.1	26.8	33.8	8.5	26.8	0.0	4.2	8.5
	第三・石原・飛田給（n=94）	14.9	11.7	28.7	47.9	13.8	25.5	1.1	3.2	8.5

問 38 介護者支援策として、あなたが必要だと思うことは次のどれですか。
(いくつでも○)

- 必要だと思う介護者支援策は、「介護者が気軽に休息がとれる機会づくり (49.0%)」が最も多く、「介護者に対する定期的な情報提供 (47.2%)」,「電話や訪問による相談サービス (38.7%)」が続いている。

【複数回答】全体 (N=633)



問 39 市民同士がお互いに支え合い、住み慣れたまちで誰もが安心して暮らすことのできるまちづくりを進めるためには、以下の①～③の取組が重要です。これらの取組について、ご意見、ご提案をお聞かせください。（自由記述）

○ 市民同士がお互いに支え合い、住み慣れたまちで誰もが安心して暮らすまちづくりの取組についてのご意見、ご提案を自由記述形式でたずねたところ、211 件の回答があった。以下に項目別の意見数を掲載する。

項目	意見区分	意見数
①地域活動の活性化・市民同士の支え合いの仕組みづくり	ア 自治会活動の活性化 イ 支え合い、ボランティア ウ 地域活動の情報 エ 近所のつながり オ 声かけ	37
②相談・サービスの充実	ア 市のサービス イ サービス等の情報提供 ウ 相談体制の充実	52
③安全・安心の確保等	ア 交通安全 イ 防災の強化 ウ 防犯の強化	38
取組番号の選択なし		29
3つの取組以外で気になっていること	ア 生活環境 イ 市の施策 ウ 医療、福祉、子育て、防災 エ 交通の利便性 オ アンケート	55
合計		211

○ 項目別に意見を抜粋して掲載する（原文通り）。

①地域活動の活性化・市民同士の支え合いの仕組みづくり

ア 自治会活動の活性化

- ほどよく他者に関心や協力のできる関係が大事だと思います。そのためには自治会活動が大きな役割を持っています。市内のユニークな自治会活動を伝える手段があるといいと思います。（男性、75～79 歳）
- 自治会会員が少なくなり、消滅した所もあります。古い方は年を取って辞めていくし、引っ越して来た新しい方はまず入会しません。どうすればいいのか私には分かりませんが、魅力ある自治会を考えていけばと思います。（女性、70～74 歳）

イ 支え合い、ボランティア

- 市民同士の支え合いの仕組みづくりには自治会の力が大事に思えますが、自治会に入っている家が少ないと思えます。調布市へ転入の際に自治会へ入る案内、様々な相

談に応える市役所の支援組織の紹介などされては。高齢者施設、保育園の近くに高齢者の集まれる場所（高齢者の仕事場、憩いの場）を交流目的に設置し、可能な人は介護士、保育士の手伝いをする（早朝、夜の預かり、食事、掃除など）。シルバー人材センターの充実。覗いてみようかなと思わせるようなコマーシャル。（女性、75～79歳）

- いつでも年齢に関係なくふらりと立ち寄れる様な場があると年を重ねた人や子供や例えば障がいがある人などその中には最低限のルールがあり、それらを支える人も高齢者などという、自由な場が欲しい。常に自然と支える人が居てと。高齢者も関係的には無視ができないながらも役に立ちたいという思いは常に頭の中には持っている。シニアパワーを大いに利用して欲しいもので有る。（女性、80～84歳）
- シルバー人材の活用。ボランティアの参加の簡単さ。（女性、65～69歳）

ウ 地域活動の情報

- 地域活動は各地域で色々あるようですが、私はよく知らず、一人暮らしになり知り合いに何かやりたいと話した所、老人会に誘って下さり入りました。市でももう少し広報に力を入れてはと思います。東町のランチはあまり利用されていない様子に見えます。もっと気軽に誰でも行かれる居場所にできないでしょうか。どういうコンセプトでどう運営をすれば皆の気楽な居場所になるのか、私には考えても分かりません。中身が大事だと思うのですが…。（女性、75～79歳）

エ 近所のつながり

- 市民活動までは望まないが、災害時に助け合える、声かけができるなど、また昨今の闇バイトなどの被害防止等も含め、開かれた地域づくり、コミュニティづくりは必要ではないかと思う。昔は町内会が有り、近所の人付き合いがあったが、今はなくなった。（男性、65～69歳）
- マンション住まい長いがポストに氏名、玄関表札もない。「隣は何をする人ぞ」強く感じます。民生委員一度も来訪なし。（女性、80～84歳）
- 30代までは、地域、近所で昔からの隣人同士で交流、助け合う交流があった。自らが、高齢者となった今、つくづく思うのが子供、児童を含めた若者の人口が減り、接触すら無くなっている。介護施設等で学校児童、生徒達が交流の機会あるのは知っているが、その親世代さらには成長した若者達がまず交流、接触する機会、イベントが全く無いように思える。もし、あったとしても見聞きしていない。中高年よりも、若い世代から地域で交流継続していく事業が個人的には必要と思う。（男性、65～69歳）

オ 声かけ

- 見守りパトロール隊があったら良い。1.安心、安全の確認。2.困った時に相談が出来る。3.安否確認をする。4.話し相手になってもらう。（男性、70～74歳）

②相談・サービスの充実

ア 市のサービス

- 複雑な手続きを要さず、予約や長時間の待ち時間がいない、気軽に相談できるサービス体制を希望します。（男性、65～69歳）

- 一層のサービスの充実と、利用しやすい、相談しやすい環境整備が必要。(男性, 65～69 歳)
- 可能な限り自立した生活をしたいが、それが難しくなったとき、手続き等複雑でなく緊急時簡便に利用できる行政のサービス (女性, 70～74 歳)

イ サービス等の情報提供

- 相談・サービスをどこに連絡すれば良いか分かりやすく案内してほしいです。(女性, 65～69 歳)
- 調布市が提供している各種サービスの一覧表があると便利だと思います。(男性, 70～74 歳)

ウ 相談体制の充実

- 支援が必要となった時、一番最初に相談できる窓口が市役所にあってほしい。その後のニーズにあった相談先を指示してくれる、新規の相談者に寄り添える窓口があると安心です。(女性, 65～69 歳)
- 相談窓口が複数ある現状は一定のメリットがありますが、複数の悩みが絡む複雑なケースに対応するため、窓口を一本化し、相談の一次受付と内容分析を行った後に、専門の窓口へ連携する仕組みを推奨します。(男性, 65～69 歳)
- 気軽に相談できる場所をもっと増やして欲しい。(女性, 70～74 歳)

③安全・安心の確保等

ア 交通安全

- 歩道が狭く、段差や斜めになっている場所が多いと思う。自転車の利用率が高く、歩道歩行マナーも悪い為、危険を感じる事が多々あり。対策整備が必要と思う。(女性, 70～74 歳)
- 駅周辺の歩道は整備されていますが、住まいの近くは歩道が狭く左右傾斜、車道との段差が大きい。狭い道は路面が荒れているなど、歩くにも車椅子にも困難があります。バスの乗り降りも大変な所もあります。それらが改善されれば外出が楽になります。段差の大きいバス停には、歩道上に柵やポールがあると助かります。(女性, 75～79 歳)
- 高齢者だからという訳でなく、居住地により大きな差がある。歩道(狭い, 区分なし), 自転車通行路(狭い車道, 歩道), 街灯(疎ら)の整備を推進してほしい。(男性, 65～69 歳)

イ 防災の強化

- 事前の備蓄, 避難計画, 防災意識の向上, 情報収集, 家族で避難場所や連絡方法を常日頃話し合う。又, 地域の防災訓練に参加, ハザードマップを確認, 防災情報を常に確認できる仕組みを準備する。(男性, 70～74 歳)
- 町内会への不加入所帯が多くなっており, ネットワーク(災害時の安心安全の確保・普段の見守り等)としての機能が低下していると思う。緊急時に町内会不加入で町内会費も払っていないことを理由にその所帯を排除・見放すわけにもいかず, いざという時の対応に苦慮するのではと考える。(男性, 80～84 歳)

ウ 防犯の強化

- 高齢者をねらった詐欺にひっかからないように近所の高齢者の方々とのコミュニケーションが最も大切だと思います。健康にも気をつけて話し合う機会をもとうと思っています。(男性, 70~74 歳)
- 高齢者の1人住まいの安全・安心の確保はとても難しい。地域の民生委員の方は、数年前に1度来られましたが、その後何の連絡もない。どういう働きをされているのでしょうか。せっかく地域の方なのでもっと身近に接して欲しい。(女性, 85 歳以上)

3つの取組以外で気になっていること

ア 生活環境

- 商業施設が駅周辺に集中しています。高齢者には自転車での移動も難しくなったり、バスの乗り降りが大変になる方もいます。コンビニでの生活食品のバラエティは限られ徒歩圏内ミニスーパーやドラッグストアがあると便利です。朝食や昼食喫茶を設置(有料で)してくれる場も併設されていると友人とおしゃべりの場になると思います。(女性, 75~79 歳)
- 高齢になると、部屋を借りづらくなる(持ち家ではないので)。(女性, 75~79 歳)

イ 市の施策

- 災害に強い町づくりの一環として私道の市道への変更手続き支援をお願いしたい(上下水道等のインフラの強化, 道路の補強等が進まない)。(男性, 65~69 歳)
- 加齢とともに外出が困難になるが学びの場が欲しい。公民館や図書館で行われているようなものが自宅で出来れば良いと思う(思いつくのはパソコンのようもので双方向で話が出来るもの。他に色々あるのではと)。(女性, 85 歳以上)
- ずっと元気で澁刺とした人として生きていきたいと皆願っていると思う。病気になってからではなく、元気な内から体力作りや食事に気を付け、健康な身体で生きていきたい。その為の参加型健康作りの催し、企画を進めて欲しい。(女性, 70~74 歳)

ウ 医療, 福祉, 子育て, 防災

- 年を取ると外出する機会がなく運動不足になるので近くに気軽に行ける広場がほしいです(そこに行けば必ず、誰かいておしゃべり出来るところ)。(女性, 80~84 歳)
- ケアマネージャーのスキルアップ。認知症について詳しく説明。(男性, 80~84 歳)
- 介護士さんの給与及び待遇改善。(男性, 70~74 歳)

エ 交通の利便性

- 通院のためにタクシーを利用しているが、混んでいてタクシーが来てくれないことがある。介護度合いに関係なく高齢者が優先的に利用できるタクシーがあるとよいと思います。(女性, 85 歳以上)
- 巡回バスの増便希望, 切望!(男性, 65~69 歳)

オ アンケート

- アンケートの量が多すぎて記入に苦労した。簡単に整理すべき。(男性, 75~79 歳)